

## 第6章 部門別まちづくり方針

- 6. 1 土地利用の方針
- 6. 2 賑わいづくりの方針
- 6. 3 ユニバーサルデザインのまちづくりの方針
- 6. 4 道路・交通システムの方針
- 6. 5 自然環境の保全及び活用の方針
- 6. 6 景観形成の方針
- 6. 7 公園・緑地の整備方針
- 6. 8 住宅・宅地の供給方針
- 6. 9 生活基盤施設の整備方針
- 6. 10 都市防災の向上の方針

## 第6章 部門別まちづくり方針

### 6. 1 土地利用の方針

都市の骨格構造で示した「都市・田園ゾーン」「ふるさと田園ゾーン」「自然環境保全ゾーン」のうち、ここでは「都市・田園ゾーン」を中心に拠点や市街地の土地利用の方針を示します。

#### (1) 基本方針

都市圏内で生活する多くの人にとって暮らしやすい、望ましい都市構造とするため、都市機能の無秩序な拡散を防止し、既存の都市基盤を有効活用しつつ、都市機能の適正立地を確保し、多様な都市機能がコンパクトに集積した「集約型都市構造」の実現を目指します。

また、副県都にふさわしい都市づくりを進めるため、拠点として位置づけたエリアにおいては、優先的に都市基盤整備を行い都市機能の誘導を図ります。併せて、一体の都市として効率的・効果的な都市活動が行えるよう、市街地や拠点の機能分担と連携を支えるネットワークの充実を図ります。

- 駅等を中心としたコンパクトな市街地の形成
- 拠点における機能集積
- 市街地や拠点の機能分担と連携を支えるネットワークの充実

#### ① 駅等を中心としたコンパクトな市街地の形成

自動車に過度に依存しないコンパクトな市街地の形成を目指し、鉄道やバス等の公共交通機関を有効に活用したまちづくりを展開します。

水沢市街地及び前沢市街地においては、駅周辺の東西連携を強化し、駅を中心としたまちづくりを進めます。

江刺市街地においては、水沢駅及び水沢江刺駅との連携を強化し、江刺総合支所を中心としたまちづくりを進めます。

市街地内における計画的な市街地化の誘導と市街地外における無秩序な市街地化の抑制を図るため、市街地外への公共公益施設の移転や広域的都市機能の拡散立地を制限し、市街地内への適正な立地を誘導します。

#### ② 拠点における機能集積

拠点として位置づけた区域については、既存の都市機能、施設、資源の分布状況を踏まえ、効率的・効果的に都市基盤整備を進め、都市機能の強化・充実を図ります。

特に、水沢駅周辺については、中心性を高めるため、水沢江刺駅との連携を強化し、都市機能の強化・充実を図ります。

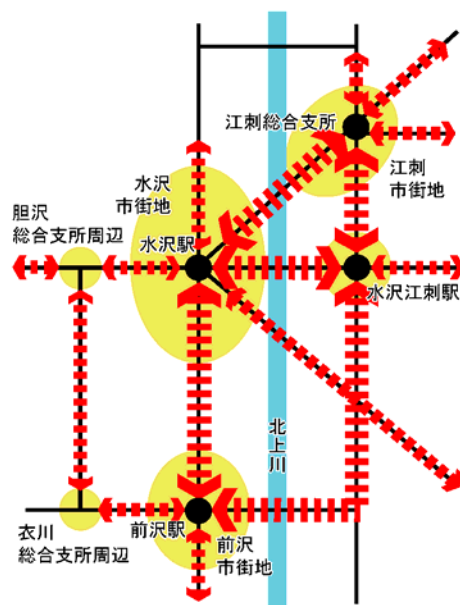
活力ある都市づくりを実現するため、既存の産業拠点においては新規企業の誘致を進めるとともに、北上高地の資源を活かした研究施設等の設置の可能性も視野に入れ、研究開発型企業等の誘致の受け皿となる都市基盤の整備を進めます。

また、工場立地適地調査の結果を踏まえた新たな産業拠点の整備を進めます。

### ③ 市街地や拠点の機能分担と連携を支えるネットワークの充実

一体の都市として効率的・効果的な都市活動を行えるよう、市街地や拠点については、適切な機能分担・補完を進めるとともに、道路網やバス路線網の強化等によりネットワークの充実を図ります。

◆市街地連携概念図



#### 【駅や総合支所周辺の空間イメージ】

現在の市街地は、駅や総合支所等から1 km～2 kmの範囲（店舗や公共公益施設が集まり、徒歩や自転車等で暮らせる範囲）に形成されています。

今後も既存の公共交通ネットワークを活用し、自動車に過度に依存しない都市構造の構築を目指します。

駅や総合支所等の周辺では、主要な行政機能、文化機能、医療・福祉機能、商業・業務機能、観光交流機能等を集約的に配置し、賑わいのあるまちづくりを目指します。

点在する歴史・文化資源等を保全・活用し、良好な街並みづくりを行うとともに、歩道の充実やユニバーサルデザイン化を進め、住む人、訪れる人が気持ちよく買物、観光、散策を楽しめるまちづくりを進めます。

◆駅周辺の空間イメージ図



## (2) 土地利用配置方針（全体）

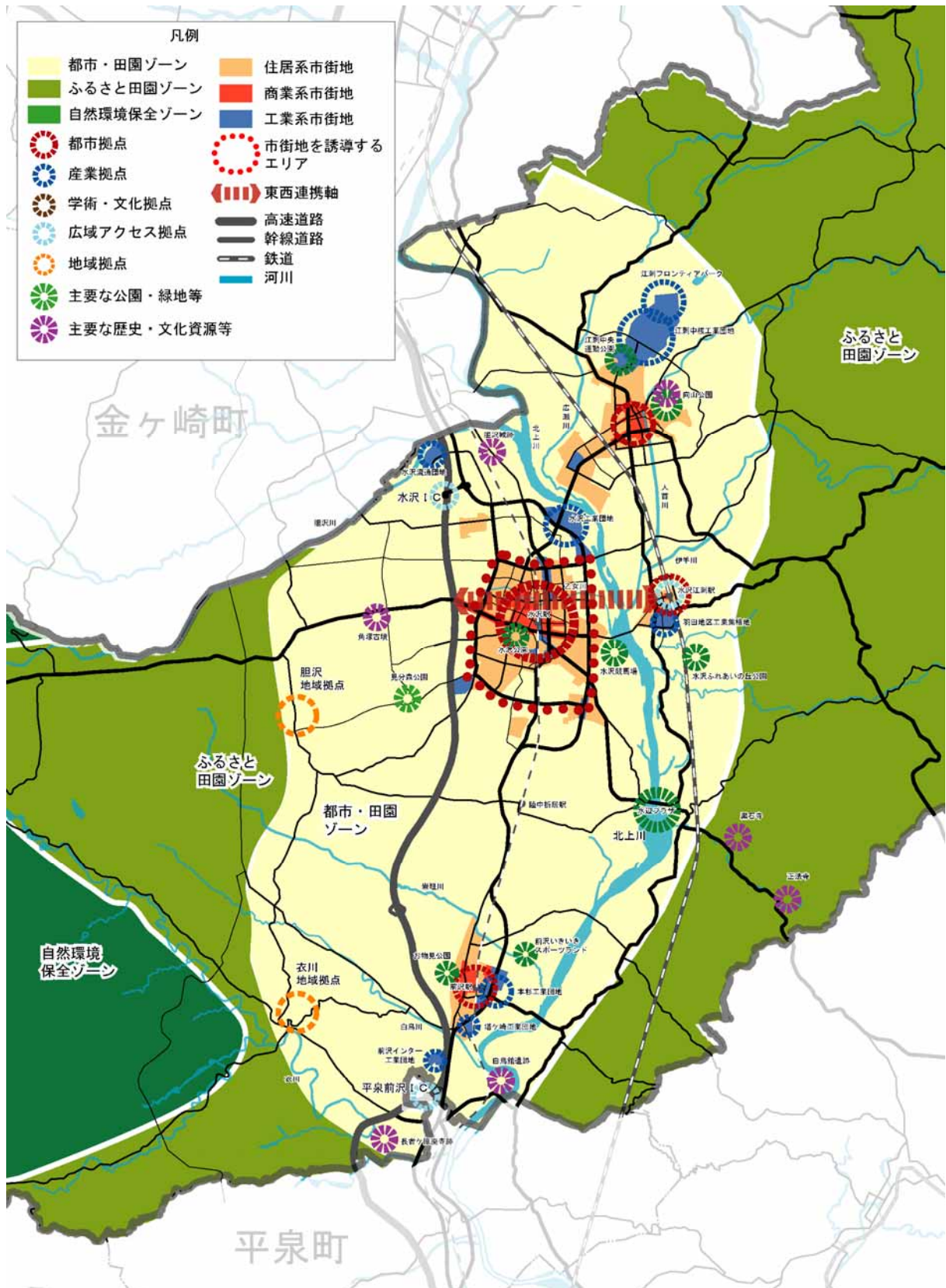
土地利用の現状及び道路の整備状況等を踏まえ、商業系市街地、工業系市街地、住居系市街地を適正に配置します。

### ◆土地利用配置方針

| 区 分    |          | 基本的な考え方                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|--------|----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 都市拠点   | 水沢駅周辺    | <p>水沢駅周辺は、駅東西の一体性を強化し、本市の中心的な都市拠点として、活力と賑わいのあるまちづくりを進めます。</p> <p>水沢駅西側は、行政施設、文化施設、商業・業務施設、医療・福祉施設、歴史・文化資源等の集積と水沢駅の交通結節機能を活かし、本市の中心市街地として、各種施策を展開し、商店街や歴史・文化資源等を活かした回遊性の高い、歩いて楽しい、賑わいのあるまちづくりを進めます。</p> <p>水沢駅東側は、水沢江刺駅と水沢駅西側を結ぶ東西道路を整備し、都市機能の強化・充実を図ります。</p>                                                                 |
|        | 江刺総合支所周辺 | <p>江刺総合支所周辺は、北東部地域の都市拠点として、商業・業務、行政、文化等の都市機能の集積を活かした、賑わいのあるまちづくりを進めます。えさし藤原の郷との連携を強化し、蔵をはじめとした多様な歴史・文化資源を活かした観光・商業機能等の充実を図ります。</p>                                                                                                                                                                                           |
|        | 前沢駅周辺    | <p>前沢駅周辺は、南部地域の都市拠点として、西側の商店街と東側の大規模商業施設との連携を強化し、賑わいのあるまちづくりを進めます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                       |
|        | 水沢江刺駅周辺  | <p>水沢江刺駅周辺は、首都圏等からの観光客を迎え入れる玄関口（観光交流の基点）として、交通結節機能や観光交流機能等の充実を図り各市街地との連携を強化し、賑わいのあるまちづくりを進めます。</p>                                                                                                                                                                                                                           |
| 商業系市街地 | 中心商業・業務地 | <p>既存の商業・業務施設の集積を踏まえ、中心的な商業・業務地を、水沢駅周辺、江刺総合支所周辺、前沢駅周辺に配置します。</p>                                                                                                                                                                                                                                                             |
|        | 近隣商業・業務地 | <p>水沢江刺駅周辺や主要幹線道路沿道で一定の商業集積が見られる区域については、居住環境との調和に配慮した近隣サービス型の商業・業務地を適切に配置します。</p>                                                                                                                                                                                                                                            |
| 工業系市街地 |          | <p>工業系市街地は、インターチェンジや駅等の交通アクセス拠点への連絡性や居住環境との調和に配慮しながら、適正に配置します。</p> <p>水沢工業団地、江刺中核工業団地、江刺フロンティアパーク、水沢流通団地、羽田地区、本杉工業団地、塔ヶ崎工業団地及び前沢インター工業団地を産業拠点として位置づけ、本市の工業生産及び物流の核としての機能の維持・増進を図ります。</p> <p>羽田地区は、歴史ある南部鉄器（水沢鋳物）の生産拠点として伝統産業の保全、育成及び活用を図ります。</p> <p>また、桜屋敷西地区及び愛宕梁川地区等の既存工業地については、隣接する住宅地の居住環境に配慮しながら、工業生産活動の維持・増進を図ります。</p> |
| 住居系市街地 |          | <p>住居系市街地は、都市防災性や生活利便性の向上に向け、道路、公園等の整備や日常生活に必要な施設等の充実を図るとともに、多様なニーズに応じた良好な宅地の供給を促進し、安全で安心して暮らせる居住環境の形成を図ります。</p>                                                                                                                                                                                                             |



## ◆土地利用方針図



### (3) 市街地別土地利用の方針

#### ① 水沢市街地

水沢市街地は、商業・業務、行政、文化、医療・福祉、工業、流通等多様な都市機能を有する、本市の中心的な市街地として発展してきました。水沢駅周辺に商業系市街地、その周辺に住居系市街地が形成されています。また、外側の幹線道路沿いや水沢インターチェンジ周辺に工業系市街地が形成されています。

北上川東側には、新幹線水沢江刺駅があり、その周辺に市街地が形成されています。

集約型都市構造の実現のため、奥州市役所や県立胆沢病院、奥州市文化会館等の主要な公共公益施設やD I D地区（人口集中地区）が概ね包括される環状道路内（内環状北側道路と外環状道路に囲まれる範囲）及びその沿道に市街地を誘導し、これ以外の区域は市街地化を抑制します。

水沢駅周辺は、本市の中心的な「都市拠点」として、業務機能や商業機能、文化・交流機能、行政等の高次的都市機能の集積を図るとともに、東西市街地の連携を強化し、それぞれの市街地特性を活かした賑わいのある、一体的なまちづくりを進めます。また、水沢江刺駅との連絡性を高めるため、新たな東西道路を整備し、副県都の機能強化に資する都市機能を誘導します。

水沢江刺駅周辺は、奥州市の玄関口として、水沢駅周辺、江刺総合支所周辺、前沢駅周辺と連携し、交通結節機能や観光交流機能の強化・充実を図ります。また、学術・文化拠点の科学学術機能や教育機能を支援する商業・業務・サービス等の都市機能を誘導します。

工業系市街地のうち、水沢工業団地、水沢流通団地及び羽田地区は、産業拠点として位置づけ工業生産及び物流機能の維持・増進を図ります。桜屋敷西地区は、隣接する住宅地の居住環境に配慮しながら、機能の維持・増進を図ります。また、羽田地区は、歴史ある南部鉄器（水沢鋳物）の生産拠点として伝統産業の保全、育成及び活用を図ります。

住居系市街地は、公園や公共下水道等の整備及び狭隘道路等の解消を進め、良好な居住環境の維持・形成に努めます。また、幹線道路沿道は、居住環境との調和に配慮した近隣サービス型の商業施設等の立地を誘導します。

用途地域内の低・未利用地は、道路や下水道等の整備を進め、適正な宅地化を誘導するとともに、必要に応じて用途の変更又は建築形態制限の見直し等を進めます。



水沢駅前通り



水沢江刺駅







## ② 江刺市街地

江刺市街地は、水沢市街地の北東部、北上川を挟んだ北側に形成されています。江刺総合支所周辺に商業系市街地、その周辺に住居系市街地が形成されています。また、北側には、本市の工業生産活動を牽引する大規模な工業系市街地が形成されています。

江刺市街地は、既存の市街地を基本に江刺総合支所周辺を中心としたコンパクトな市街地づくりを目指します。

江刺総合支所周辺は、水沢駅周辺及び水沢江刺駅周辺と連携し、都市拠点としての機能の強化・充実に図ります。また、えさし藤原の郷との連携を強化し、多様な歴史・文化資源を活かした観光・商業機能等の充実に図り、賑わいのあるまちづくりを進めます。

江刺中核工業団地及び江刺フロンティアパークを産業拠点として位置づけ、工業生産機能の維持・増進を図ります。また、江刺フロンティアパークについては、産業拠点としての機能強化を図るため、工業系用途地域を指定します。

住居系市街地は、公園や公共下水道等の整備及び狭隘道路等の解消を進め、良好な居住環境の維持・形成に努めます。また、幹線道路沿道は、居住環境との調和に配慮した近隣サービス型の商業施設等の立地を誘導します。

用途地域内の低・未利用地は、道路や下水道等の整備を進め、適正な宅地化を誘導するとともに、必要に応じて用途の変更又は建築形態制限の見直し等を進めます。



江刺中核工業団地・江刺フロンティアパーク



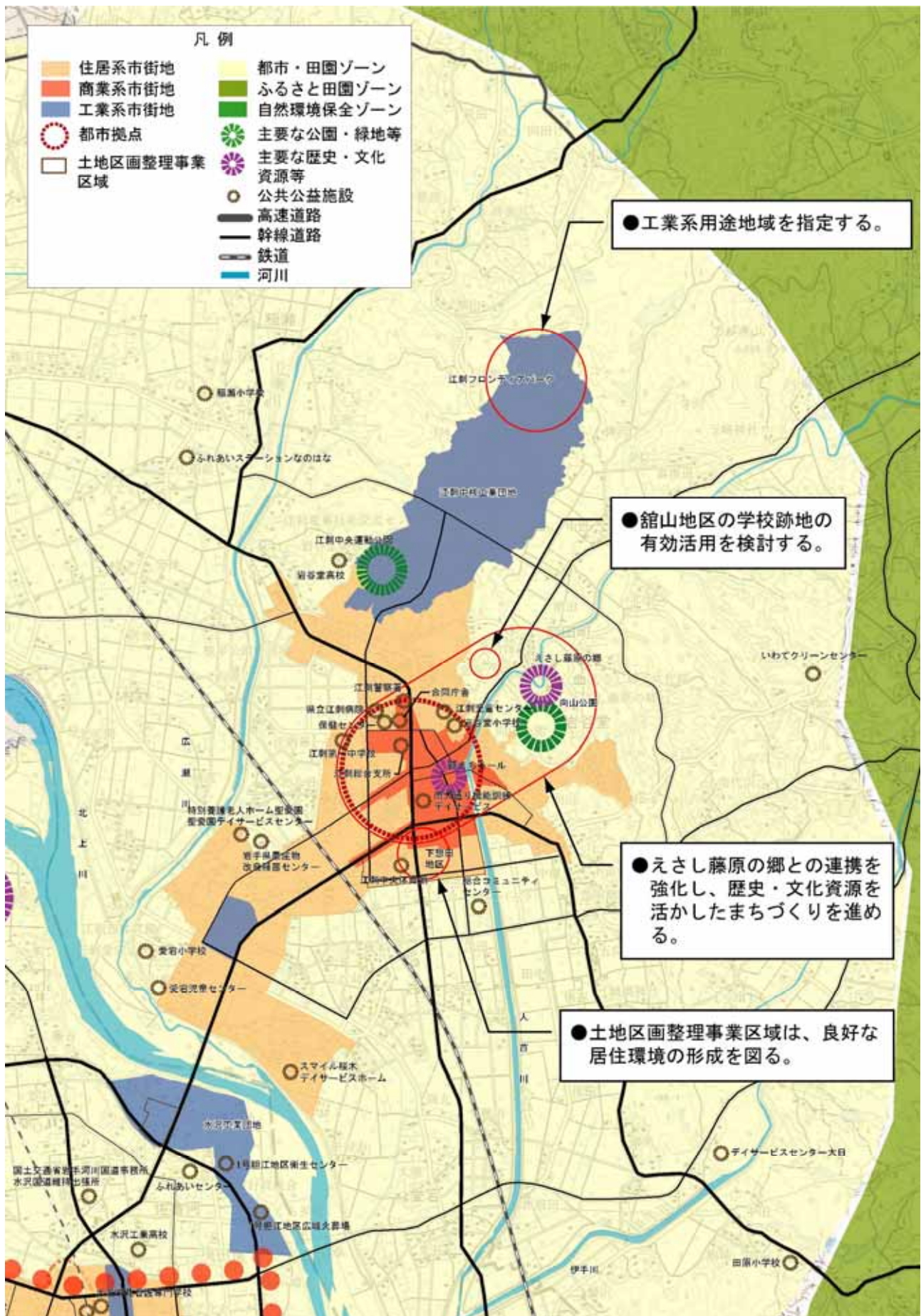
蔵まちモール



えさし藤原の郷



◆土地利用方針図（江刺市街地）



### ③ 前沢市街地

前沢市街地は、前沢駅を中心に形成されています。前沢駅周辺に商業系市街地、その周辺に住居系市街地が形成されています。また、国道4号東側から平泉前沢インターチェンジにかけて工業系市街地が形成されています。

前沢市街地は、既存の市街地を基本に前沢駅周辺を中心としたコンパクトな市街地づくりを目指します。

前沢駅周辺は、水沢駅周辺、水沢江刺駅周辺と連携し、都市拠点として機能の強化・充実を図ります。また、西側の商店街と東側の大規模商業施設との連携を強化するとともに、歴史・文化資源等を発掘、活用し、賑わいのあるまちづくりを進めます。

本杉工業団地、塔ヶ崎工業団地及び前沢インター工業団地を産業拠点と位置づけ、工業生産機能の維持・増進を図ります。また、前沢インター工業団地は、産業拠点としての機能強化を図るため、工業系用途地域を指定します。

住居系市街地は、公園や公共下水道等の整備及び狭隘道路等の解消を進め、良好な居住環境の維持・形成に努めます。また、幹線道路沿道は、居住環境との調和に配慮した近隣サービス型の商業施設等の立地を誘導します。

用途地域内の低・未利用地は、道路や下水道等の整備を進め、適正な宅地化を誘導するとともに、必要に応じて用途の変更又は建築形態制限の見直し等を進めます。



前沢北地区土地区画整理事業



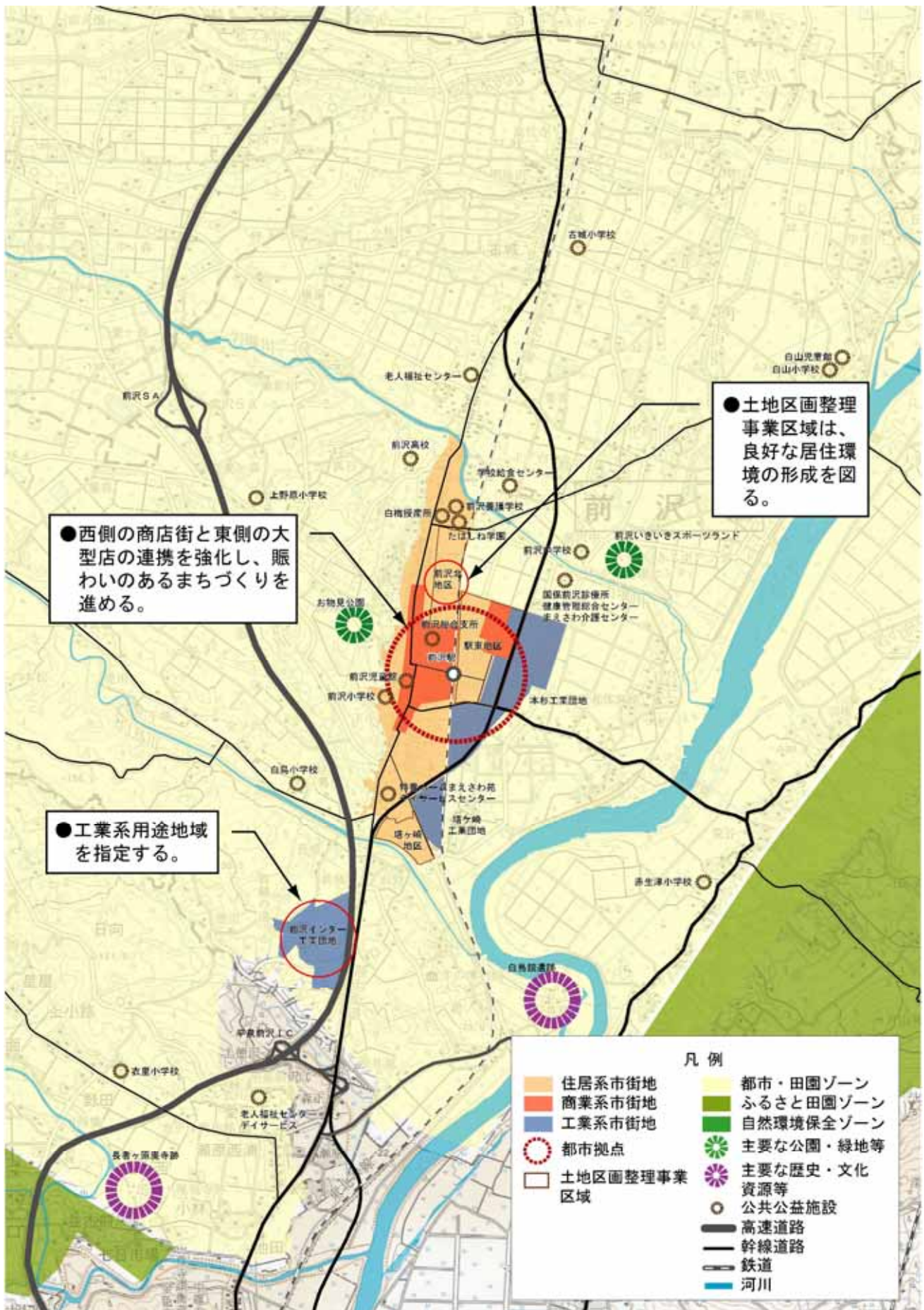
前沢市街地



前沢インター工業団地



◆土地利用方針図（前沢市街地）





## 6. 2 賑わいづくりの方針

「観光」「商業」「市民生活」の視点から賑わいづくりの方針を示します。

多くの観光客を呼び込み、観光による賑わいづくりを進めるため、「奥州市観光基本構想」を踏まえながら、観光資源の魅力の向上や観光周遊ネットワークの形成を図るとともに、観光客を「もてなす」ための取り組みを進めます。

多くの市民や買物客、観光客が訪れる「まちの顔」ともいえる都市拠点（水沢駅西側、江刺総合支所周辺、前沢駅周辺）については、既存の商業集積や歴史・文化資源等を活かした多様な取り組みを行い、賑わいの再生を図ります。

また、地域拠点（胆沢、衣川）については、人口減少や高齢化の進展等も踏まえ、日常生活に必要な機能の強化・充実を図ります。

- 観光拠点と観光周遊ネットワークの形成
- 都市拠点における賑わいづくり
- 地域拠点における機能の強化・充実

### (1) 観光拠点と観光周遊ネットワークの形成

本市には、魅力的な観光資源が各地に点在していますが、各資源を結ぶ周遊ネットワークや情報発信等が十分ではないことから、観光客の誘致に結びついていません。

今後は、より多くの人が奥州市を訪れ、長く滞在し、リピーターとなるよう、各資源の魅力高めるとともに、ハード、ソフトの両面から各資源を結ぶ観光周遊ネットワークの形成を図ります。

#### ① 観光拠点の形成

本市を代表する自然資源や歴史・文化資源を有するエリアを観光拠点として位置づけ、魅力を高めるための環境整備等を進めます。

水沢江刺駅周辺、水沢市街地、江刺市街地、えさし藤原の郷及び平泉文化遺産地域は、観光交流拠点と位置づけ、本市の観光の玄関口として、観光情報の受発信機能の充実、観光地への交通手段の確保・充実等を図ります。

既存の観光資源の魅力の向上を図るため、周辺の景観整備や散策路の整備・充実を進めるとともに、情報発信を行います。また、地域住民と協力して、新たな資源を掘り起こします。

胆沢ダム周辺は、新たな観光拠点として環境整備を進めます。

## ◆観光拠点の形成方針

| 項 目           | 拠点名             | 内 容                                                                                                  | 観光交流拠点 |
|---------------|-----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|
| 歴史・文化とのふれあい拠点 | 水沢江刺駅周辺         | 観光客を迎え入れる玄関口として、各種観光情報を発信するとともに、観光拠点への交通手段の充実を図ります。伝統産業会館や鋳物技術交流センターを中心に、南部鉄器の紹介や鉄器づくり等の体験型観光を提供します。 | ●      |
|               | 水沢市街地           | 高野長英記念館、後藤新平記念館、斎藤實記念館、武家屋敷のほか、宇宙遊学館、水沢公園、乙女川等を活用し、商店街とも連携して景観や散策ルートを整備し、街なか観光の充実を図ります。              | ●      |
|               | 江刺市街地及びえさし藤原の郷  | えさし藤原の郷と蔵まちモール周辺との連携を強化するとともに、新たな資源の掘り起こしや散策ルートの整備を行い、観光地としての魅力の向上を図ります。                             | ●      |
|               | 前沢市街地           | 前沢城主の城跡（お物見公園）や歴史的建造物等を活用するとともに、新たな資源を掘り起こし、街並みや散策ルートの整備を行い、街なか観光の充実を図ります。                           |        |
|               | 平泉文化遺産地域        | 平泉町や一関市と連携を図りながら、白鳥館遺跡、長者ヶ原廃寺跡を保全するとともに、アクセス性の向上や景観整備を進めます。                                          | ●      |
|               | 正法寺・黒石寺周辺       | 正法寺、黒石寺周辺の景観整備や大型バスがアクセスしやすいよう環境整備を進めます。                                                             |        |
|               | 胆沢城跡周辺          | 胆沢城跡の公園化を検討するとともに、アクセス性の向上や景観整備を進めます。                                                                |        |
| 自然とのふれあい拠点    | 胆沢ダム周辺          | 胆沢ダム周辺の自然環境や大清水上遺跡を活かし、休憩、散策、自然観察・体験等の機能の充実を図るとともに、観光客等への観光情報の提供を行います。                               | ●      |
|               | 焼石岳周辺           | 高山植物の宝庫としても名高い焼石岳周辺は、良好な自然環境の保全を図りながら、登山道等の充実を図ります。                                                  |        |
|               | 胆沢散居集落          | 胆沢扇状地に広がる日本三大散居集落の一つである「胆沢散居集落」の景観を保全し、観光資源として活用するとともに、視点場の整備を進めます。                                  |        |
|               | 種山高原周辺（大森山、物見山） | 宮沢賢治の作品の舞台ともなっている種山高原周辺は、豊かな自然環境と星座の森や種山牧場等を活かした自然とのふれあい拠点としての環境整備を進めます。                             |        |
|               | 国見山周辺           | 国見山周辺の豊かな自然環境、国見平スキー場等を活かし、自然とのふれあい拠点としての環境整備を進めます。                                                  |        |



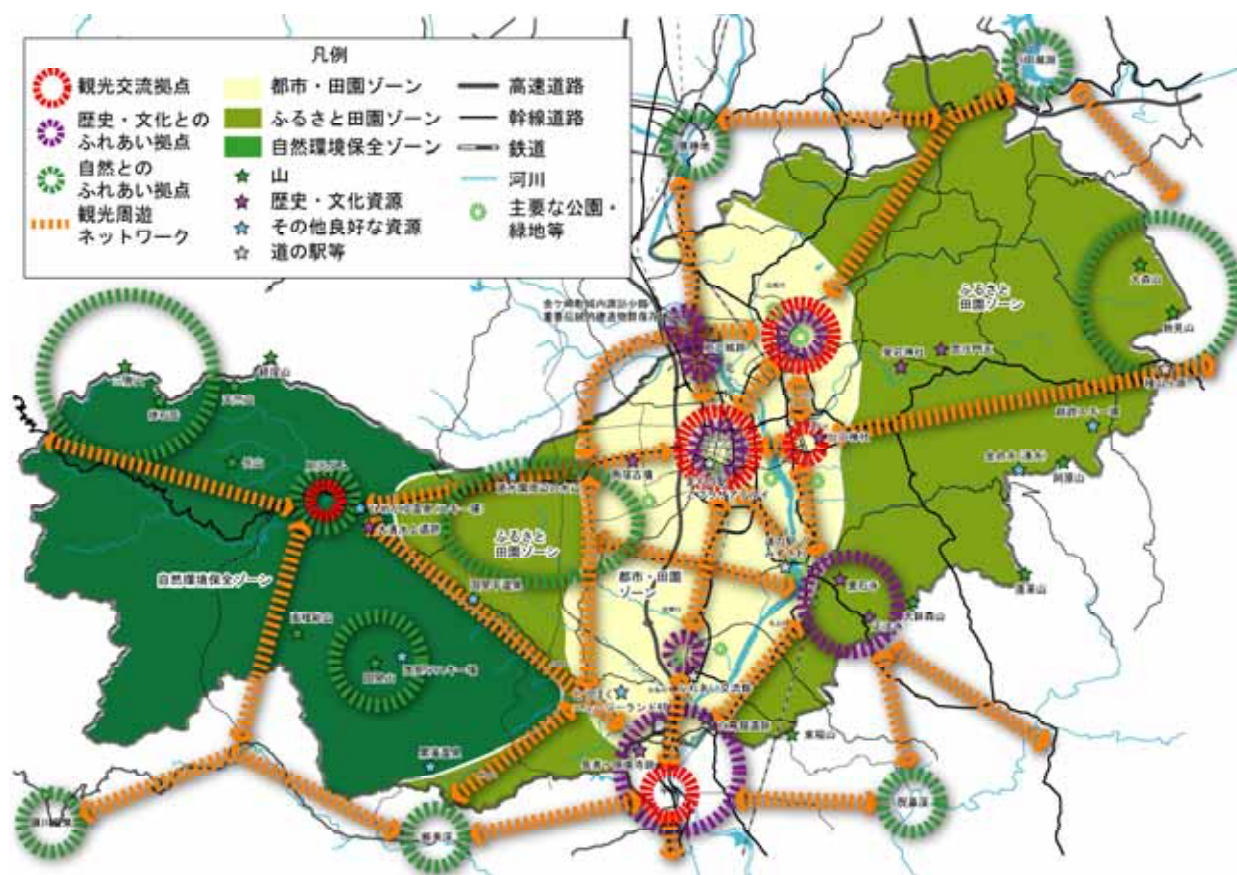
## ② 観光周遊ネットワークの形成

奥州市を訪れる観光客が長く滞在できるよう周遊型観光ルートの整備を進めます。

観光拠点を結ぶ道路や拠点における観光バス専用駐車スペースの充実を図ります。また、水沢江刺駅、水沢駅、前沢駅等を基点として観光拠点を結ぶ路線バスやシャトルバスの充実を図ります。

平泉町、一関市、北上市等の周辺市町村と連携して、広域的な観光周遊ネットワークの形成を図ります。

◆観光周遊ネットワーク形成方針図



## ③ 観光客をもてなすための取り組み

観光拠点や観光周遊ネットワークを活かしながら、次の取り組みを行い、「もてなしの心」を創出していきます。

◆取り組み例

- イベント、祭の充実や情報発信
- 特産物を活かした食や土産品の開発・提供
- 豊かな自然環境や田園環境を活かしたグリーン・ツーリズムの充実
- テレビや映画のロケの誘致

## (2) 都市拠点における賑わいづくり

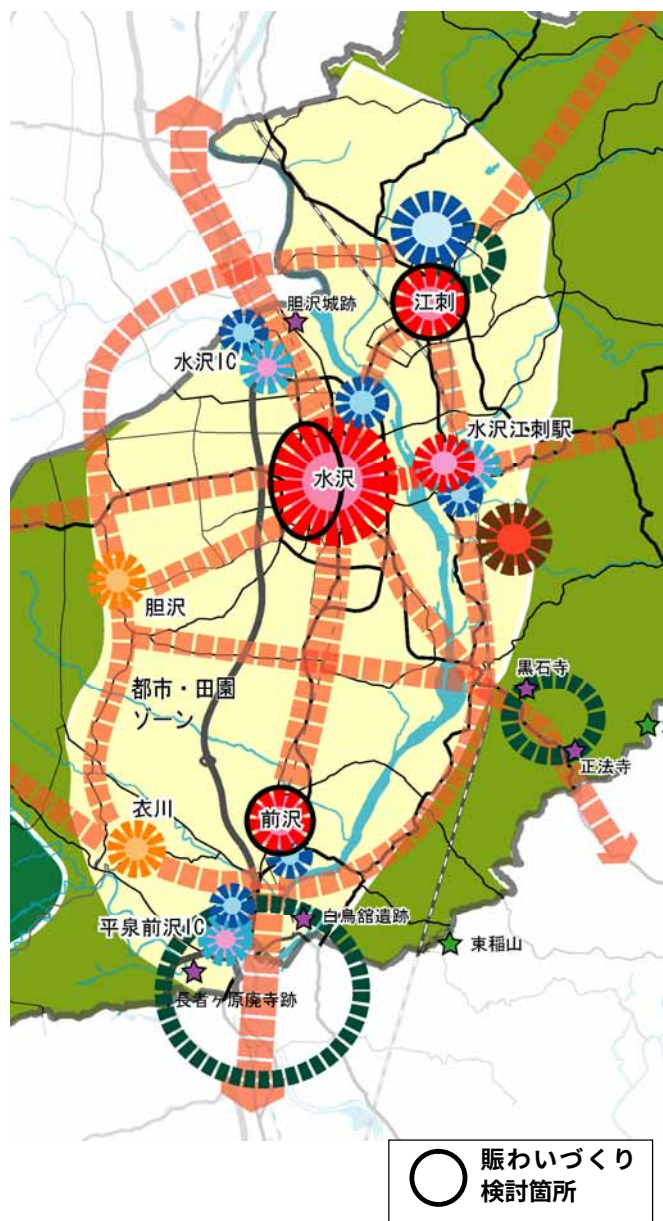
都市拠点のうち、商店街や歴史・文化資源が見られる水沢駅西側、江刺総合支所周辺、前沢駅周辺について、賑わいの再生の基本的な考え方を示します。

多様な都市機能が集積する水沢駅西側、江刺総合支所周辺、前沢駅周辺は、「まちの顔」として重要な役割を果たしてきましたが、店主の高齢化等の影響もあって、空き店舗が目立ち、かつての賑わいを感じられなくなってきています。

しかし、鉄道やバス等の公共交通も利用しやすい環境にあることから、高齢化が進展するなかにあっては、生活、交流の拠点として、その重要性が高まると考えられます。また、数多くの歴史・文化資源が残っており、観光面での誘客、発展も期待されます。

このため、既存の都市施設や歴史・文化資源等を活かし、地域と連携を図りながら多様な取り組みを行い、賑わいの再生を図ります。

### ◆賑わいづくりの対象とする都市拠点



### ◆取り組み例

- |                         |              |
|-------------------------|--------------|
| ○ 多種多様な都市機能の誘導・充実       | ○ 拠点施設の整備    |
| ○ 魅力的な店舗等の誘導            | ○ 街並みの環境整備   |
| ○ 歩いて楽しいみちづくり（回遊性の向上）   | ○ イベント、祭の充実  |
| ○ 周辺の観光資源・施設との連携強化と情報発信 | ○ 交流の場・機会の創出 |
| ○ 駐車場整備（大型バス）           |              |
| ○ 周辺地域からのアクセス性の向上       |              |



各エリアの特性やこれまでの取り組みを踏まえ、それぞれの賑わいづくりの方針を示します。

#### ◆水沢駅西側周辺の賑わいづくりの方針

| 項 目     | 内 容                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|---------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 基本的な考え方 | 水沢駅西側周辺は、既存商店街があるほか、行政施設、文化施設、医療・福祉施設、歴史・文化資源等が集積しています。「奥州市中心市街地活性化基本計画」に基づき、ハード、ソフトの両面から、街の賑わいづくりを進めます。 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 基本コンセプト | <b>歴史・文化を活かし、新たな交流をはぐくむ街づくり</b>                                                                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 基本方針    | 歴史・文化資源を活かした交流人口増加による賑わいづくり                                                                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな観光・情報発信拠点を整備することにより、中心市街地における来街者増加を目指します。</li> <li>・街なかの歴史・文化資源を活用し、観光ルートとして整備することにより中心市街地の回遊性の向上を目指します。</li> <li>・広域幹線道路である国道4号や大手町官庁街からのアクセス性を向上させ、中心市街地への来街者増加を目指します。</li> </ul>                                                                                                                            |
|         | 中心市街地の回遊性向上による商店街・地域コミュニティの活力向上                                                                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント時の賑わいを恒常的なものにするため、商店街等が新たに取り組む各種ソフト事業の連携により来街者の増加を図り、商店街の活力向上を目指します。</li> <li>・空き店舗の解消や不足する業種を誘致するなど、商店街の機能を強化するとともに、中心市街地エリア内の地域コミュニティの核としての活動を推進します。</li> <li>・メイプル機能強化や各種イベント等との連携により、奥州市の中心にふさわしい集客拠点を目指します。</li> <li>・都市基盤の整備を図るとともに、生活利便性を高めながら、あらゆる世代が住み続けたいと思える居住環境を整備し、地域コミュニティの強化を目指します。</li> </ul> |

上記のうち、基本コンセプトと基本方針は「奥州市中心市街地活性化基本計画」から抜粋・整理したものです。

#### ◆江刺総合支所周辺の賑わいづくりの方針

| 項 目     | 内 容                                                                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                      |
|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 基本的な考え方 | <p>岩谷堂周辺では、平成11年度に「江刺タウンマネジメント構想」を策定し、ハード、ソフト両面から活性化に取り組んできており、平成18年5月には中小企業庁により「がんばる商店街77」にも選定されています。</p> <p>旧江刺商工会議所では、近年の動向も踏まえながら中心市街地の活性化に向け「江刺まちづくり革新計画」を策定しました。</p> <p>この計画を基に、江刺の基幹産業である「農業」との連携や年間十数万人の観光客が訪れる「えさし藤原の郷」との連携を中心とした賑わいのあるまちづくりを進めます。</p> |                                                                                                                                                      |
| 基本コンセプト | <b>故郷江刺の誇りを繋ぐ、集いと賑わいのあるまち</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 江刺の誇りである文化を継承するまち</li> <li>2. 生活者が集うまち</li> <li>3. 賑わいのあるまち</li> </ol>                                                                                                                  |                                                                                                                                                      |
| 基本方針    | 地域アイデンティティを創造する                                                                                                                                                                                                                                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・蔵、郷土芸能、神社仏閣、路地を次世代に伝えることにより、江刺の誇りを守ります。</li> <li>・空き蔵の活用と修復、神社仏閣の振興、平泉文化と江刺の繋がりの紹介、郷土芸能の保存等を行います。</li> </ul> |

|  |                     |                                                                                                                                                                                                              |
|--|---------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  | <b>地域コミュニティを高める</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元の住民が「集う」から「まち」になります。住民に支持され、そして楽しんでもらうまちづくり事業を実施します。</li> <li>・まちづくり補助金の創設、蔵まちモールでの「市」の機能拡大、農業生産者が自由に出店できる自由市場、蔵まちモールの活用、散策路の整備、水がある空間の整備、裏路地の活用等を行います。</li> </ul> |
|  | <b>交流人口を拡大する</b>    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・口コミで交流人口が増えていくまち、リピーターが多いまち、一過性ではない観光のまちづくり事業を実施します。</li> <li>・えさし藤原の郷との連携、昔の暮らしや田舎生活体験、世界遺産登録関連事業、四季折々のイベント等を行います。</li> </ul>                                       |

上記のうち、基本コンセプトと基本方針は「江刺まちづくり革新計画」から抜粋・整理したものです。

#### ◆前沢駅周辺の賑わいづくりの方針

| 項 目            | 内 容                                                                                 |                                                                                       |
|----------------|-------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>基本的な考え方</b> | 前沢駅周辺は、西側に既存商店街や行政施設、文化施設があり、東側には大型店が立地しています。これらが相互に連携して、機能の強化・充実と賑わいのあるまちづくりを進めます。 |                                                                                       |
| <b>基本コンセプト</b> | <b>大型店と商店街の連携による<br/>駅を中心とした賑わいのあるまちづくり</b>                                         |                                                                                       |
| <b>基本方針</b>    | <b>交通結節機能の強化</b>                                                                    | ・利用者の円滑な乗換えや乗り継ぎの向上のため、東西駅前の結節機能の強化を図ります。                                             |
|                | <b>良好な居住環境の提供による人口の増加</b>                                                           | ・土地区画整理事業により形成された良好な住宅地を活かし、定住人口の増加を図ります。                                             |
|                | <b>多様な都市機能の誘導</b>                                                                   | ・生活利便性の向上、買物客や観光客の誘導、新たな雇用の場の創出に向け、商業・業務、医療・福祉、宿泊等の多様な施設・機能を誘導します。                    |
|                | <b>歴史・文化資源の活用</b>                                                                   | ・前沢城主の城跡（お物見公園）や歴史的建造物等を活かすとともに、埋もれている歴史・文化資源を掘り起こし、街並みや散策ルートの整備を行い、歩いて楽しいまちづくりを進めます。 |

上記は、ワーキンググループ委員会や市民ワークショップの結果を踏まえ整理したものです。

### （３） 地域拠点における機能の強化・充実

胆沢区及び衣川区においては、各集落に点在する店舗が人々の暮らしを支えてきました。

今後、人口減少や高齢化が進むなか、店舗の減少や集落単位での祭・行事の維持が難しくなることが予想されることから、より広域的な視点で集落の維持や支援を行う必要があると考えられます。

地域拠点では、公共公益施設の集積を活かし、行政、文化、医療・福祉機能等の強化・充実、日常生活に必要な施設の誘導を図るとともに、周辺地域の人々が集まりやすいよう、ここを基点とする公共交通等の充実を図ります。

また、地域におけるグリーン・ツーリズム、二地域居住、田園居住を促進するため、情報受発信を積極的に行うほか、各種支援機能の強化・充実を図ります。



## 6. 3 ユニバーサルデザインのまちづくりの方針

子供からお年寄りまで、障がいの有無や男女の別なく、また海外からの移住者や来訪者等も含め、誰にもやさしく、住みやすく、活動しやすい、ユニバーサルデザインのまちづくりを目指します。

- 行政の取り組み
- 事業者の取り組み
- 市民の取り組み

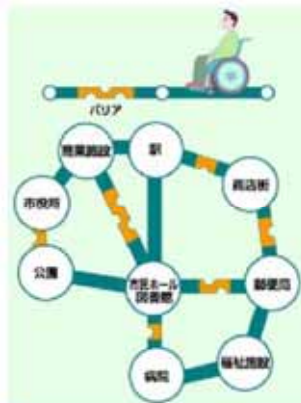
### (1) 行政の取り組み

高齢者や障がい者、妊婦、けが人などの移動や施設利用者の利便性や安全性の向上のため、駅、道路、公園、市役所、病院、学校、市営住宅等の公共公益施設については、「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（バリアフリー新法）」に基づいた施設の整備・改善を進めるとともに、高齢者や障がい者などが利用する施設が集まったエリアにおいては、重点的かつ一体的なバリアフリー化を進めます。また、バリアフリー化のためのソフト施策の充実も図ります。

バスについても、低床バスの導入を促進するとともに、低床バスへ対応したバス停留所の整備を進めます。

#### ◆バリアフリー歩行空間ネットワークのイメージ図

生活の主要な移動経路となる駅、商店街、病院、福祉施設、行政機関、文教施設等を結ぶ道路をバリアフリー化し、高齢者や障がい者にも安心・安全・快適に移動ができる道路環境を整備



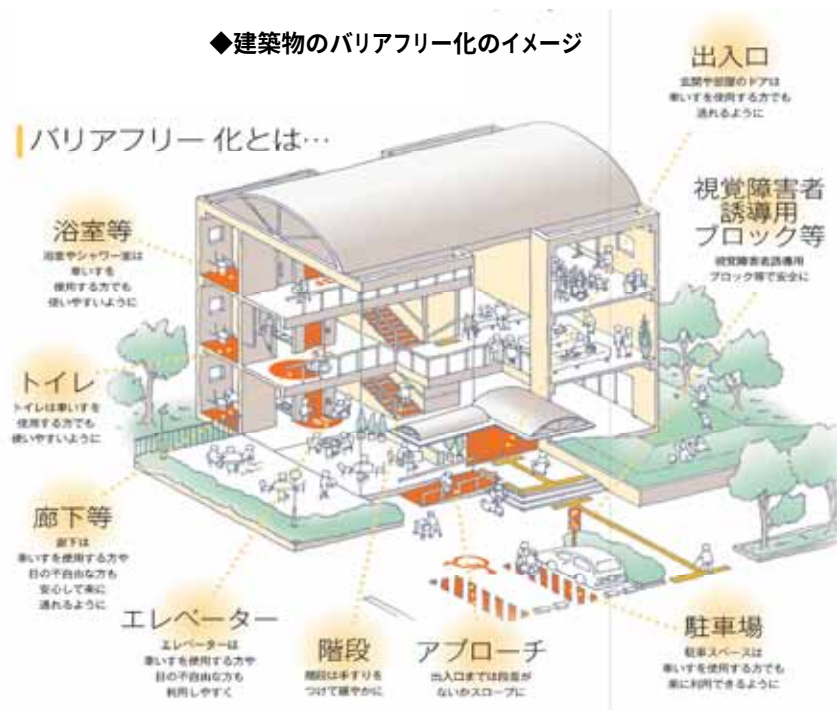
出典：国土交通省ホームページ ([http://www.mlit.go.jp/road/road/traffic/bf/1\\_bf\\_need.html](http://www.mlit.go.jp/road/road/traffic/bf/1_bf_need.html))

#### ◆取り組み例

- |                               |                    |
|-------------------------------|--------------------|
| ○ 段差や凸凹の解消                    | ○ スロープやエレベータ等の設置   |
| ○ すべりにくい舗装材の採用                | ○ ゆとりある歩行空間の確保     |
| ○ 点字ブロック等の設置                  | ○ 障がい者等専用駐車スペースの設置 |
| ○ 誰にも分かりやすい案内                 |                    |
| (大きさや色使いの工夫、点字表記、音声誘導、多言語表示等) |                    |

## (2) 事業者の取り組み

大規模商業施設や観光施設等の多くの人が集まる民間施設についても、公共公益施設に準じたユニバーサルデザインの取り組みを促進します。



出典：バリアフリー法パンフレット「ハートのあるビルをつくろう」  
(国土交通省)

## (3) 市民の取り組み

全ての施設、空間、サービスをユニバーサルデザインとすることが理想ですが、現実的には難しいと考えられます。それを補うのが市民一人ひとりの力であり、地域や組織で支え合うことが重要です。

このため、より多くの人々がユニバーサルデザインについて理解し、率先して行動できるよう、意識啓発、教育、人材や組織の育成等に努めます。

## 6. 4 道路・交通システムの方針

市域の一体性や回遊性の向上に向け、幹線道路網の充実を図るとともに、高齢化の進展や環境問題への対応も視野に入れ、安全・安心で快適な道路空間の創出や交通結節機能の強化と公共交通の充実を図ります。また、適切な道路の維持・管理に努めます。

- 市域の一体性・回遊性の向上に資する幹線道路網の形成
- 人にやさしい、安全・安心で快適な道路空間の創出
- 公共交通等の充実と交通結節機能の強化
- 適切な道路の維持・管理

### (1) 市域の一体性・回遊性の向上に資する幹線道路網の形成

本市では、東北自動車道が市中央を縦断し、水沢インターチェンジ及び平泉前沢インターチェンジが国道4号と接続しています。また、南北方向の国道4号及び国道456号、東西方向の国道397号及び国道343号により、概ね十字型の国道網が形成されており、これらを補完する形で主要地方道や一般県道が配置され、本市の道路網の骨格を形成しています。

この道路網を基本に、各拠点・市街地、地域・地区を適切に連絡し、市域の一体性・回遊性を高め、生活、産業、観光等の多様な面での連携、交流に資する幹線道路網の形成を図ります。

#### ① 幹線道路網の形成方針

##### ア 市外や市内各地区を連絡する幹線道路網

国道、主要地方道、県道等で構成される道路網を基本に、東北自動車道の水沢インターチェンジ、平泉前沢インターチェンジ及び東北横断自動車道釜石秋田線の（仮称）江刺田瀬インターチェンジや東北新幹線水沢江刺駅へのアクセス性の向上に配慮した幹線道路網を形成します。

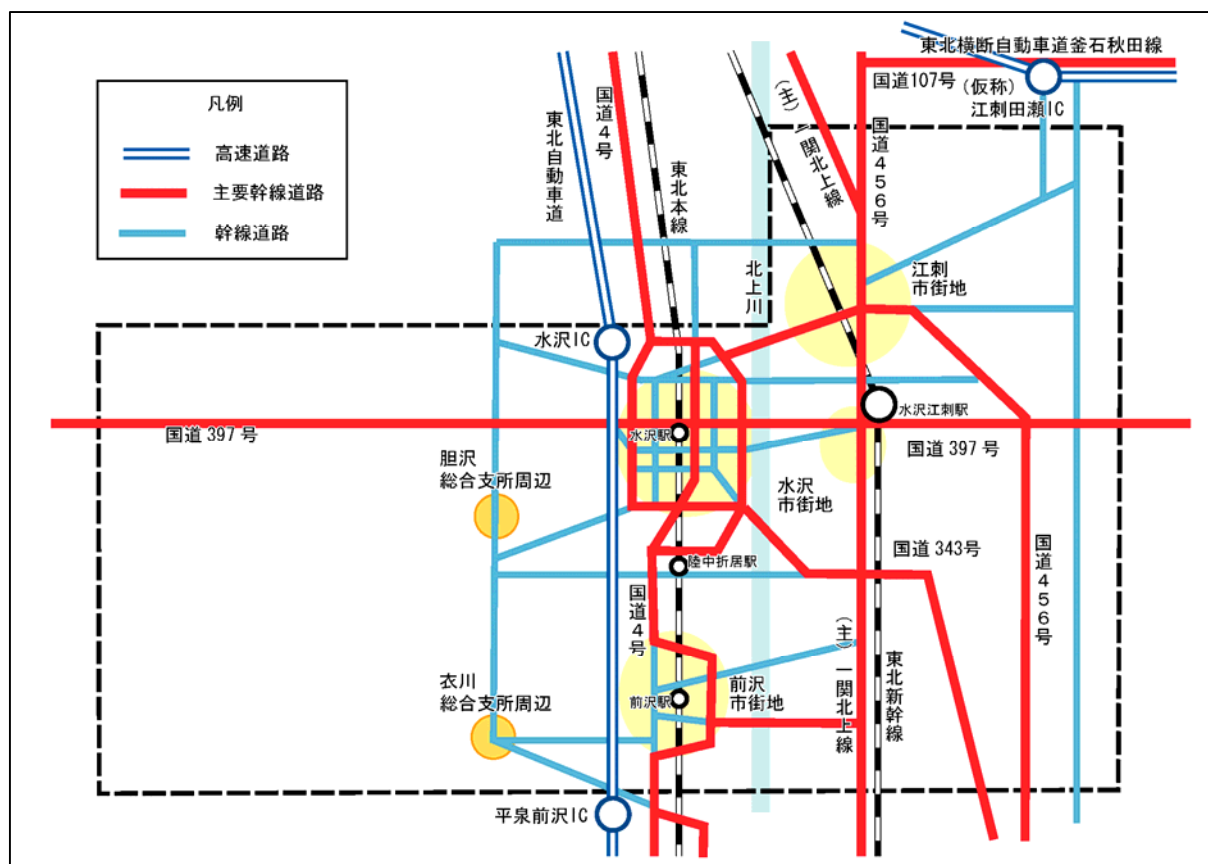
南北方向は、都市広域連携軸を支える国道4号、北上川左岸の主要地方道一関北上線及び国道456号を主要幹線道路と位置づけます。

東西方向は、都市と農山村の連携軸である国道397号と、市域東部の国道343号を主要幹線道路と位置づけ、市内及び市外との連絡性を高めます。また、水沢江刺駅、江刺市街地及び前沢市街地の連絡性の強化を図るため、国道4号と主要地方道一関北上線をつなぐ一般県道長坂束稲前沢線を主要幹線道路と位置づけます。

水沢区、江刺区、前沢区の市街地、胆沢区と衣川区の主要地を主要幹線道路や幹線道路が相互に連絡するとともに、市街地を迂回しても連絡可能な道路網を形成します。



## ◆広域的な幹線道路網の配置イメージ



## イ 市街地内の幹線道路網

水沢区、江刺区、前沢区の各市街地における幹線道路網は以下のとおりとします。

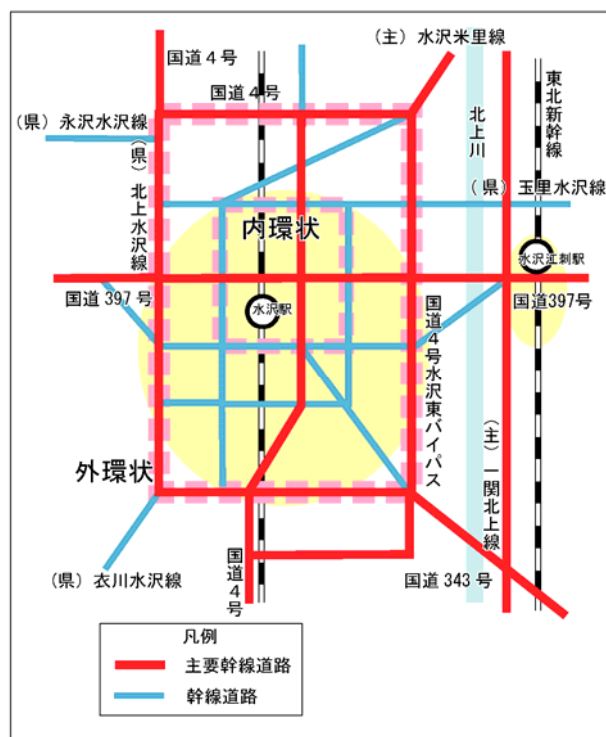
## 〔水沢市街地〕

放射状に他地区を結ぶ国道4号、国道343号及び主要地方道水沢米里線と、市街地の外郭を構成する国道4号水沢東バイパスと一般県道北上水沢線（外環状）等を主要幹線道路と位置づけます。

これに一般県道永沢水沢線及び衣川水沢線等の幹線道路を加えて、市街地の環状道路網と市街地外とを結ぶ放射状道路網を形成します。

市街地を支える環状道路網として、内環状と外環状を配置します。

## ◆水沢市街地の幹線道路網

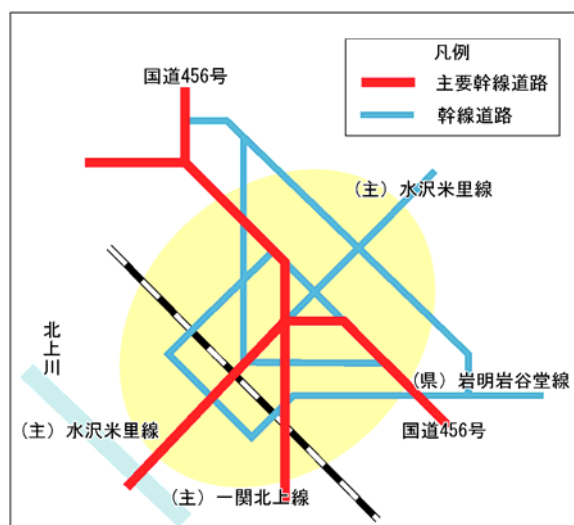


## 〔江刺市街地〕

国道 456 号と主要地方道一関北上線、水沢市街地を連絡する主要地方道水沢米里線を主要幹線道路と位置づけます。

これに一般県道岩明岩谷堂線及び都市計画道路を加え、市街地を支える幹線道路網を形成します。

## ◆江刺市街地の幹線道路網

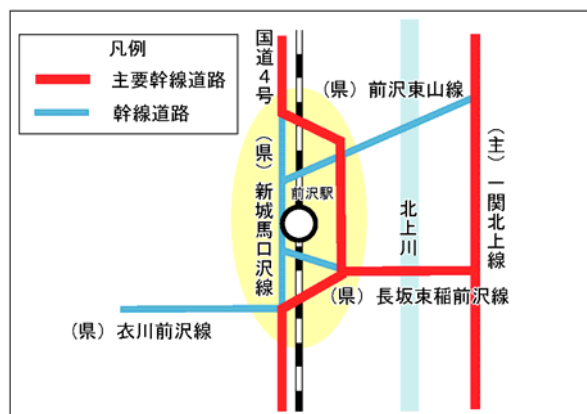


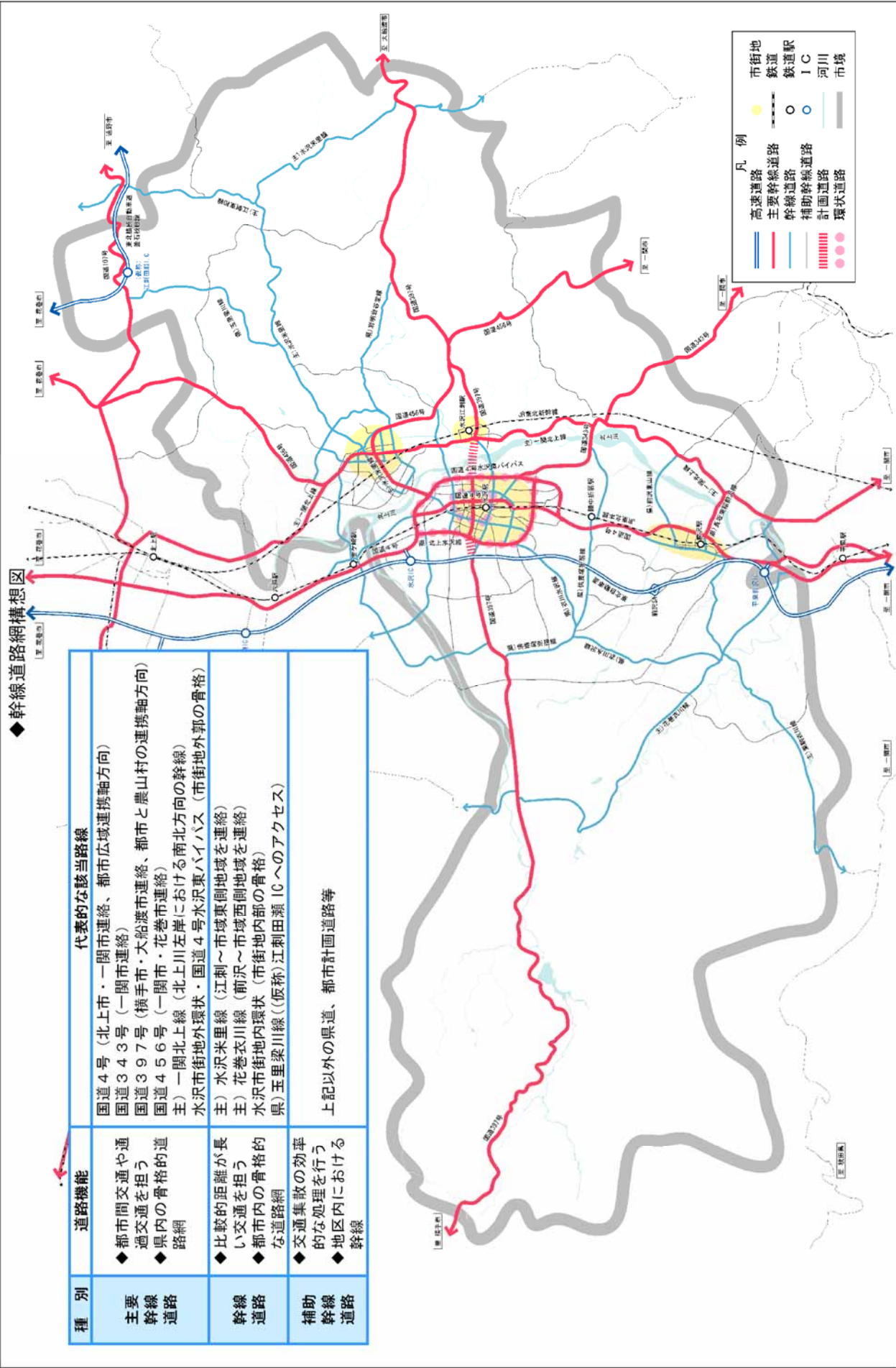
## 〔前沢市街地〕

国道 4 号と主要地方道一関北上線を南北の主要幹線道路と位置づけます。北上川を横断し、この 2 路線を結ぶ一般県道長坂東稲前沢線を東西の主要幹線道路と位置づけ、水沢江刺駅への連絡性を高めます。

これに一般県道新城馬口沢線、衣川前沢線及び前沢東山線により幹線道路網を形成します。

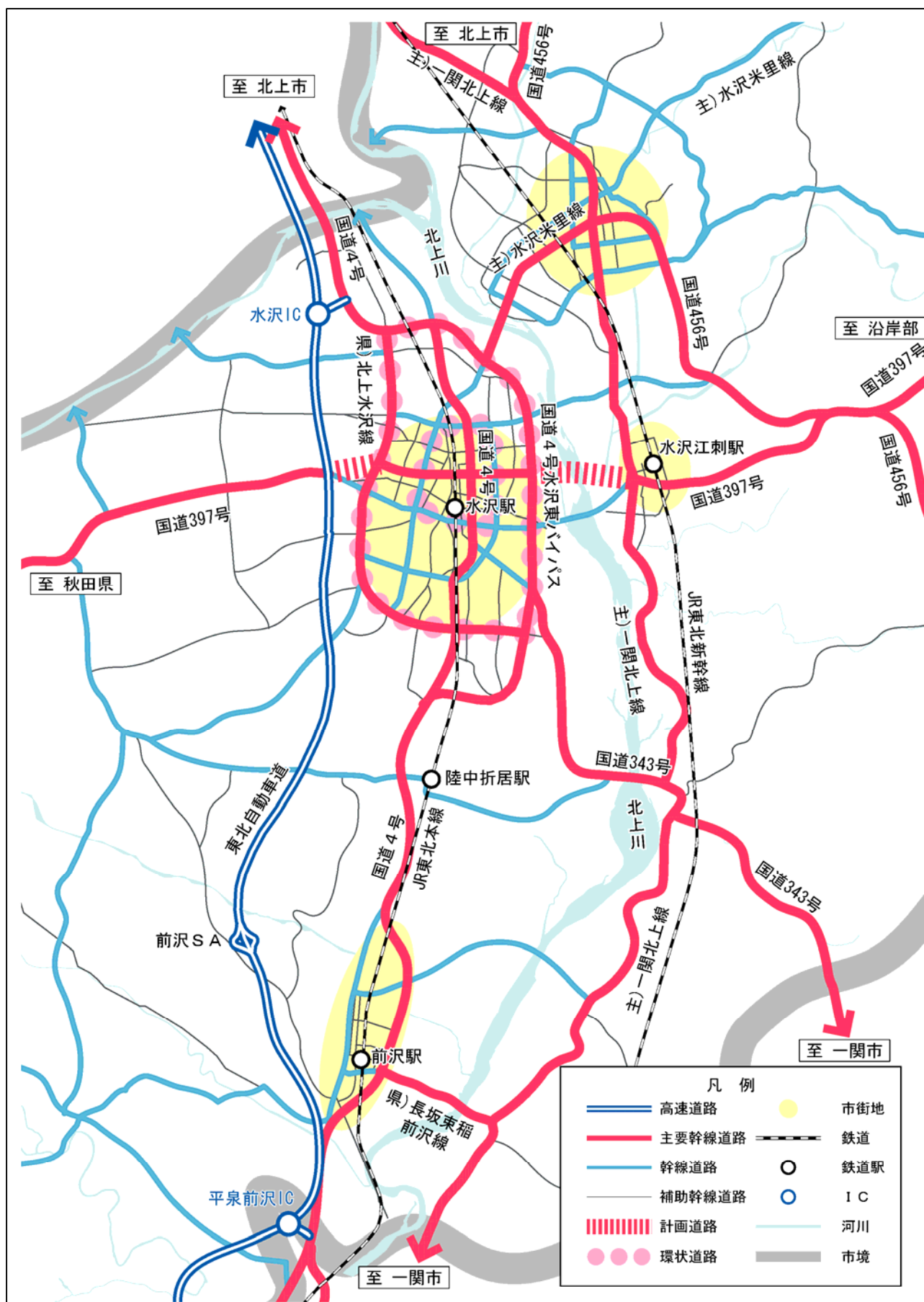
## ◆前沢市街地の幹線道路網







◆幹線道路網構想図(市街地拡大図)



## ② 幹線道路網を形成するための施策の展開方針

幹線道路網を形成するため、以下の施策を展開します。

### ア 広域的な幹線道路網の整備

#### ○国道4号水沢東バイパスの早期整備の促進と延伸の検討

現在整備が進められている国道4号水沢東バイパスについては、未供用区間の早期整備を促進します。また、南側への延伸については、交通需要の動向等を見ながら関係機関と協議を進めます。



国道4号水沢東バイパス

#### ○国県道の整備促進

その他の国県道については、歩道の充実や拡幅整備の実現に向け、国・県と協議・調整を進めます。

#### ○渋滞区間の緩和

朝夕を中心に混雑が見られる国道4号や国道397号等については、混雑緩和に向け、交差点改良、信号時間の見直し等を関係機関と協議を進めるとともに、周辺の幹線道路との機能分担等を検討します。

#### ○東北横断自動車道釜石秋田線の整備促進

東北横断自動車道釜石秋田線の整備を促進します。また、(仮称)江刺田瀬インターチェンジと江刺市街地との連絡性を高めるため、アクセス道路の充実を図ります。



(仮称) 江刺田瀬インターチェンジ予定地付近

#### ○東北自動車道へのスマートインターチェンジの設置の検討

高速道路の通行者及び利用者の利便性の向上、地域の活性化、物流の効率化等を図るため、東北自動車道へのスマートインターチェンジの設置を検討します。

## イ 都市内幹線道路網の整備

### ○新幹線駅と市街地を結ぶ東西道路の整備

新幹線駅と市街地の連絡性を強化し、都市と農山村の連携軸の形成を促進するため、市街地と新幹線駅を結ぶ新橋を含む東西道路の整備推進について取り組みます。

#### ◆東西道路の整備



### ○鉄道を横断する東西道路の整備

鉄道で分断される東西市街地の連絡性を強化し、市街地の一体性を高めるため、東西道路の整備を進めます。

### ○その他幹線道路の整備

市街地内の都市計画道路をはじめ、市域の一体性や回遊性、周辺都市との連絡性、観光地へのアクセス性の向上に資する幹線道路の整備・充実を図ります。

## ウ 都市計画道路の見直し

都市圏総合交通体系調査等を踏まえ、路線の必要性や配置、構造等の妥当性の検証を行い、都市計画道路の適切な見直しを進めます。



## (2) 人にやさしい、安全・安心で快適な道路空間の創出

少子高齢化の進展や環境問題への対応等に配慮した生活道路や歩道の整備を進め、歩いて楽しい空間の創出、自転車利用環境や交通安全対策の充実を図ります。

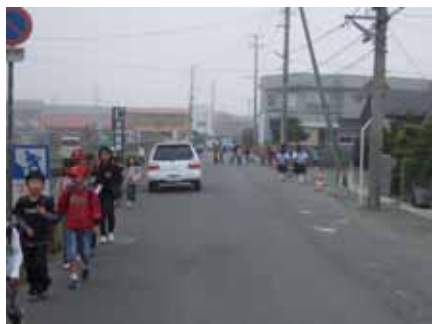
### ① 生活道路の整備・充実

地域の生活利便性や防災性の向上を図るため、未舗装道路、行き止まり道路や狭隘区間の解消等、生活道路の整備を進めます。

### ② 歩道等の整備・充実

安全で安心な歩行空間ネットワークの形成を図るため、学校、病院、駅等の人が多く集まる施設を中心に歩道の整備を進めます。

誰もが、快適で歩きやすい空間とするため、障害物の撤去や歩道と車道の段差の解消等のバリアフリー化を進めます。



歩道のない通学路



歩道の整備された通学路

### ③ 歩いて楽しい環境づくり

駅周辺、中心市街地、観光地等の来街者が多く集まる地区では、コミュニティ道路、歩行者専用道路、散策路の整備や電線類の地中化等を行い、歩いて楽しい環境づくりを進めます。

水と緑のネットワークの形成や花と緑による景観づくりにも配慮し、路地の活用、オープンカフェの設置、歴史・文化資源を活かした街並みづくり等を進め、訪れるたびに新たな発見がある楽しい空間を創出します。



江刺市街地  
蔵まちモール



水沢市街地  
都市計画道路 新小路竜ヶ馬場線  
(ゆとりがあり歴史が感じられる歩道空間)

#### ④ 自転車利用環境の充実

道路整備を行う場合には、自転車が通行可能なスペースを確保するとともに、既存道路についても、自転車の通行に配慮した環境整備を進めます。

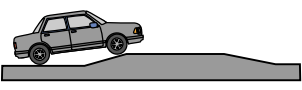
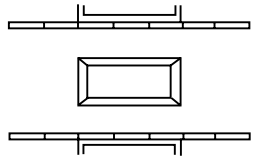
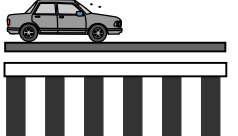
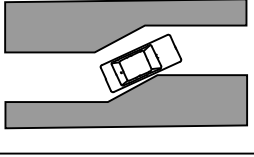
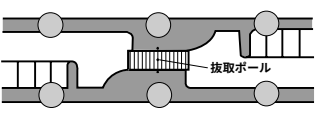
また、駅、公共施設、大規模集客施設における自転車駐車場の整備を促進し、自転車利用環境の充実を図ります。

北上川沿いや主要拠点を結ぶサイクリングロードの整備やまちなか観光の手段としてレンタサイクルの導入等を検討します。

#### ⑤ 交通安全対策の充実

交通安全対策の充実を図るため、交差点改良、カーブの緩和、歩道と車道の分離等の道路構造の改善のほか、適切な交通規制の導入を進めます。

**◆速度抑制方策と実施事例**

|                                                                                                   |                                                                                                              |                                                                                                                                                                                                                           |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>台形ハンプ</p>     | <p>スピードクッション</p>           |  <p>シケインの導入（水沢区）</p>  <p>交差点の強調、イメージハンプ（水沢区）</p> |
| <p>路面凹凸舗装</p>  | <p>狭さく</p>                |                                                                                                                                                                                                                           |
| <p>シケイン</p>    | <p>通行遮断</p>  <p>抜取ボール</p> |                                                                                                                                                                                                                           |

出典：コミュニティゾーン実践マニュアル、コミュニティゾーン形成マニュアル

### （3）公共交通等の充実と交通結節機能の強化

地球温暖化の抑制や高齢化の進展に対応した持続可能なまちづくりを実現するため、バスや鉄道等の公共交通を活用した移動手段の充実が求められています。

自家用車に過度に依存することなく暮らせるまちづくりを目指し、駅や生活拠点を中心とする公共交通網及び道路網の充実を図ります。

#### ① バス路線網等の再編と充実

バスの利便性を高め、利用しやすい環境づくりを進めるため、国、県、バス事業者と連携を図りながら、バス路線網の再編・充実を進めます。また、低床バス、ノンステップバスのほか環境にやさしい低公害車両の導入を促進します。

鉄道駅では、バリアフリー化を促進するとともに、運行ダイヤの調整等により鉄道とバスとの連絡性の向上を図ります。

観光拠点を結ぶ路線バスや市内循環バスの運行を検討するとともに、バスの待ち合い空間の充実等を図ります。

地域の実情や需要動向に応じた柔軟な対応が可能な小型バスやデマンドバス等の運行を検討します。



奥州市街なか循環バス



コミュニティバス

## ② 交通結節機能の強化

鉄道駅の交通結節機能を強化するため、パークアンドライド駐車場や自転車等駐車場の整備・充実を図ります。

また、駅の魅力や利便性を高めるため、駅を中心としたまちづくりを進めます。

## (4) 道路の適切な維持・管理

道路を安全かつ快適に利用できるよう、行政と地域が連携して、適切な維持・管理に努めます。

### ① 長期を見据えた道路の維持・管理

高度経済成長期に整備された道路、橋梁等が間もなく更新時期のピークを迎えるなか、施設の適正な管理による更新時期の平準化や長寿命化が求められています。

本市においても、国や県と連携を図りながら、現状を客観的に把握、評価し、効率的かつ効果的な道路の維持・管理に努めます。

### ② 植栽の管理、適切な除雪、道路の美化

植栽の管理、除雪、道路の美化等に関しては、地域住民の意見を踏まえながら、行政と地域が適切に役割分担をしていくためのシステムづくりを進めます。



## 6. 5 自然環境の保全及び活用の方針

森林、里山、田園等のまとまりのある緑と北上川を中心とする多様な水辺を保全、活用することにより、水と緑のネットワークを形成し、自然にやさしい、潤いを感じられるまちづくりの実現を目指します。

- 森林、里山の環境の保全と活用
- 田園、農村の環境の保全と活用
- 水辺環境の保全と活用
- 生態系に配慮したまちづくり

### (1) 森林、里山の環境の保全と活用

本市の森林、里山は、ブナ、コナラ、ミズナラをはじめとした多種多様な植生が見られ、生物の生息地として重要な役割を果たすとともに、水源涵養、自然災害防止、二酸化炭素の吸収においても重要な役割を果たしています。また、焼石岳、国見山、物見山、阿原山、蓬萊山等が見せる四季折々の変化に富んだ雄大な山並みは、景観面でも高く評価されています。

しかし、近年、林業の衰退等により、管理が行き届かず荒廃が進んでいる森林や里山が増えてきています。

森林、里山の環境を保全するため、市民、事業者、行政が一体となって、植樹、間伐、不法投棄の監視等を行うとともに、林業生産活動と連携を図り、間伐材の有効活用や地場木材の利用を促進します。

また、多くの人に森林や里山の大切さを理解してもらうため、自然観察・体験、植樹等のグリーン・ツーリズムや各種レクリエーション活動の場の充実を図るとともに、希少種・貴重種の生息地・生育地の保全を図ります。

### (2) 田園、農村の環境の保全と活用

北上川や胆沢川沿いに広がる田園は、背後の山並みとあいまって本市を代表する田園景観として、多くの市民や来訪者から高い評価を得ています。特に、胆沢扇状地に見られる散居景観は、「日本三大散居集落」とも称される独特の景観を呈しています。

しかし、近年農業従事者の高齢化等により、耕作放棄による農地の荒廃等が大きな問題となってきています。

このため、農業生産活動と連携を図りながら、田園の保全・活用を進めるとともに、田園を支える農村の生活環境の維持・充実を図ります。

また、本市の田園、農村を特徴づけるエグネ、キヅマ等の保全のあり方について検討を進めるとともに、物産販売所の設置、空き家を活用した定住促進等の都市と農村との交流を活性化するための仕組みづくりを進めます。

### (3) 水辺環境の保全と活用

本市中央部を南北に流れる北上川を軸に、数多くの河川や水路が流れ、森林、里山、田園、市街地の緑をつないでいます。また、ダム、湧水、滝等の多様な水辺が存在します。



北上川の眺め（赤生津橋から）

このような水辺の環境を保全するとともに、生態系に配慮した河川、水路等の整備、水に親しめる空間づくり、水質の改善、水辺の美化等を一体的に進めます。

#### ① 生態系に配慮した河川、水路等の整備

河川や水路の整備に際しては、魚道の設置や多自然川づくりを促進します。

#### ② 水に親しめる空間づくり

河川、湧水、滝等の地域を代表する水辺に関しては、親水公園や水辺沿いの散策路、サイクリングロード等の整備を検討します。

#### ③ 水質の改善

下水道等の普及や地域住民による環境改善の取り組みにより、河川や水路の水質が改善され、鮭の遡上が復活するなどの効果が出ています。

今後も、河川や水路の水質改善に向けた取り組みを、市民、事業者、行政が一体となり進めていきます。

#### ④ 水辺の美化

多くの地域で、河川の清掃や美化活動が行われており、今後もこのような活動を促進します。



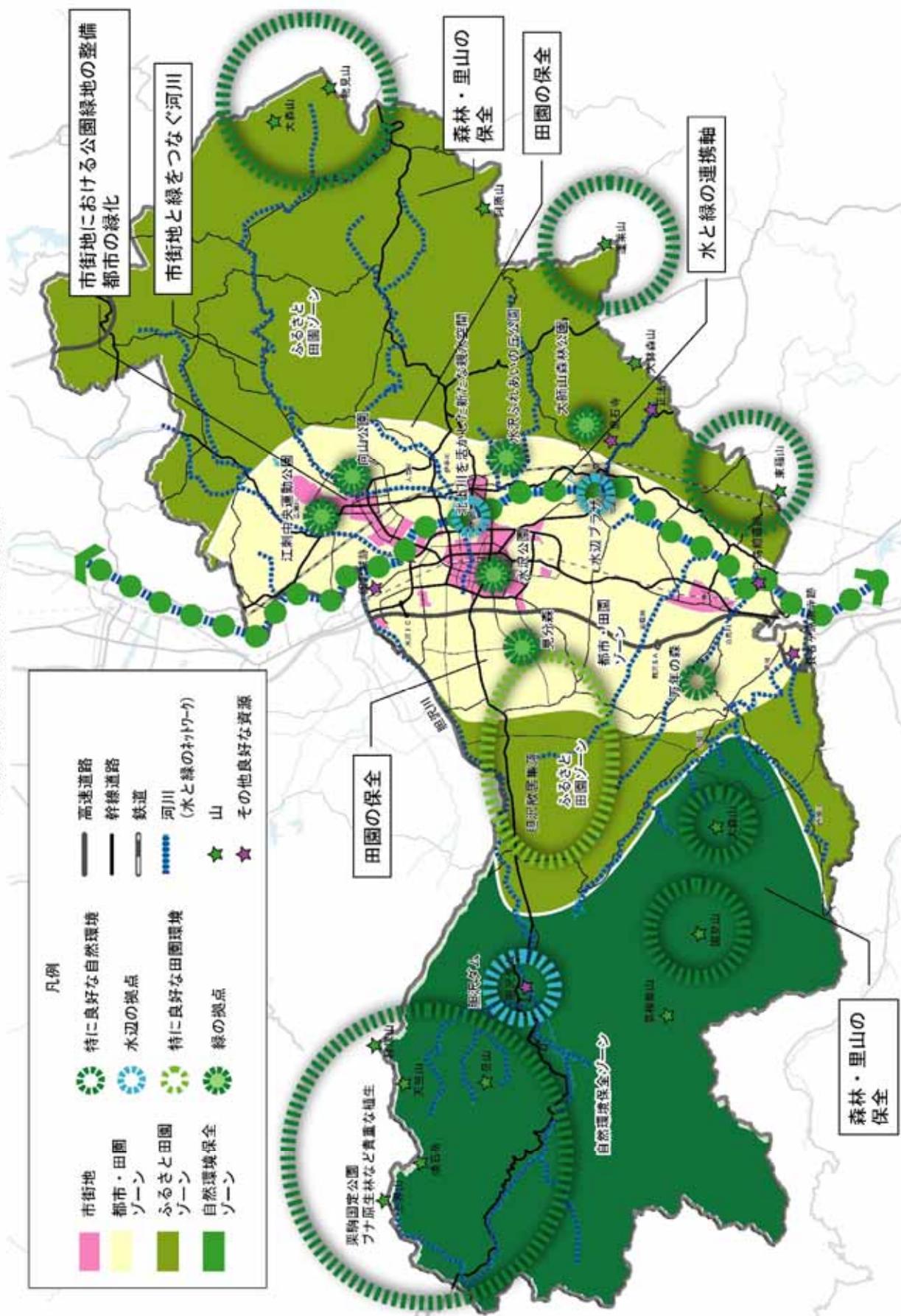
水辺クリーンアップ活動

### (4) 生態系に配慮したまちづくり

本市の森林、里山、水辺等には、絶滅が危惧されているイヌワシやオジロワシ等を含む多種多様な動植物が生息しています。

今後のまちづくりや施設の整備に際しては、環境アセスメント等の環境への事前配慮や工事後の地元植生による原状復元、環境モニタリング（監視）等を行い、生態系への配慮に努めます。

◆◆◆自然環境の保全及び活用の方針図





## 6. 6 景観形成の方針

景観は、生活、産業、歴史、文化等の積み重ねの中で築かれた「まち」そのものの表情であり、貴重な財産といえます。良好な景観は、そこに住む人の心を癒し、ゆとりと潤いをもたらすものであり、訪れる人に「まち」を印象づける重要な要素となります。

本市では、北上川を中心に田園景観が広がり、東に北上高地、西に奥羽山脈等の雄大な山並みを望むことができます。安倍氏や奥州藤原氏の遺跡、胆沢の散居集落等も本市独自の景観資源であり、また、市街地には城下町の面影を残す武家屋敷や北上川の舟運で栄えた蔵等、歴史的な建造物もあります。

市民誰もが「まち」に愛着と誇りを持ち、快適で心地よい暮らしを営み、また、交流人口の増加やまちの活性化にもつながるよう、良好な景観資源を保全・活用するとともに、これらと調和した景観形成を進めます。

- 自然景観の保全
- 田園景観の保全
- 歴史・文化資源を活用した景観づくり
- 市街地における統一感ある街並みづくり
- 景観を阻害する要素の排除
- 花と緑による景観づくり
- 眺望点（視点場）の確保と充実
- 景観資源や地域特性を活かした一体的な景観づくり

### (1) 自然景観の保全

森林、里山、水辺等の良好な自然景観を保全するため、農林業等と連携を図りながら、適切な維持・管理に努めるとともに、不法投棄等の景観を阻害する行為に対して適切な規制・誘導を行います。



阿原山牧場

### (2) 田園景観の保全

北上川や胆沢川沿いに広がる田園は、本市を代表する景観であり、今後も農業施策と連携を図りながら、豊かな田園環境と伝統的な農家の佇まいを保全します。特に、日本三大散居集落の一つでもある胆沢散居集落については、エグネやキヅマ等の独特な景観を積極的に保全・活用し、交流人口の増加につなげていきます。



エグネ



キヅマ

### (3) 歴史・文化資源を活用した景観づくり

水沢区の大畑地区や江刺区の蔵まちモール等においては、武家屋敷、蔵等を活かした歴史的な街並みづくりが行われており、今後もこのような取り組みを進めていきます。

白鳥館遺跡、長者ヶ原廃寺跡、接待館遺跡、胆沢城跡、正法寺及び黒石寺周辺については、歴史・文化資源の保全とそれと調和した景観整備を重点的に進めます。

また、各地に点在する様々な歴史・文化資源についても、保全とまちづくりへの活用を進めます。



長者ヶ原廃寺跡

### (4) 市街地における統一感ある街並みづくり

本市では、住宅地、商業地、工業地等市街地特性に応じた街並みが見られます。また、地区計画や建築協定等により統一感のある良好な街並みが形成されている地区もあります。

今後は、市街地全体にわたる良好な景観形成を図るため、景観協定、景観地区、地区計画等の制度を活用し、市街地特性に応じた建築物等の形態意匠の規制・誘導を進めます。また、案内板等のデザインの統一を進めます。



歴史的な建造物が残る街並み（大畑地区）

### (5) 景観を阻害する要素の排除

景観を阻害する要素として、屋外広告物、商店街の空き店舗のシャッター、電線・電柱（鉄塔）、不法投棄等があげられます。

幹線道路沿いに乱立する屋外広告物の適切な規制・誘導を図るため、景観計画の策定に併せて屋外広告物条例の制定を進めます。また、景観形成を重点的に実施すべき地区においては、電線類の地中化や電柱・鉄塔等の適正配置に努めます。

不法投棄については、地域住民の協力も得ながら、監視体制の強化を進めます。



景観を阻害する電線・電柱

(6) 花と緑による景観づくり

各地域で行われている取り組みを活かしながら、花いっぱい運動、オープンガーデン、生け垣等による街並みづくりを進めます。また、地域の主体的な活動を支援・誘導し、花と緑による景観づくりを進めます。



## フラワーロードの取り組み

(7) 眺望点（視点場）の確保と充実

本市の代表的な眺望点である市街地近郊の見分森公園、夢乃橋、向山公園、お物見公園、牛の博物館や郊外の国見山、束稲山、経塚山等からの見通しを確保・維持するため、眺望点（視点場）の環境整備を進めます。



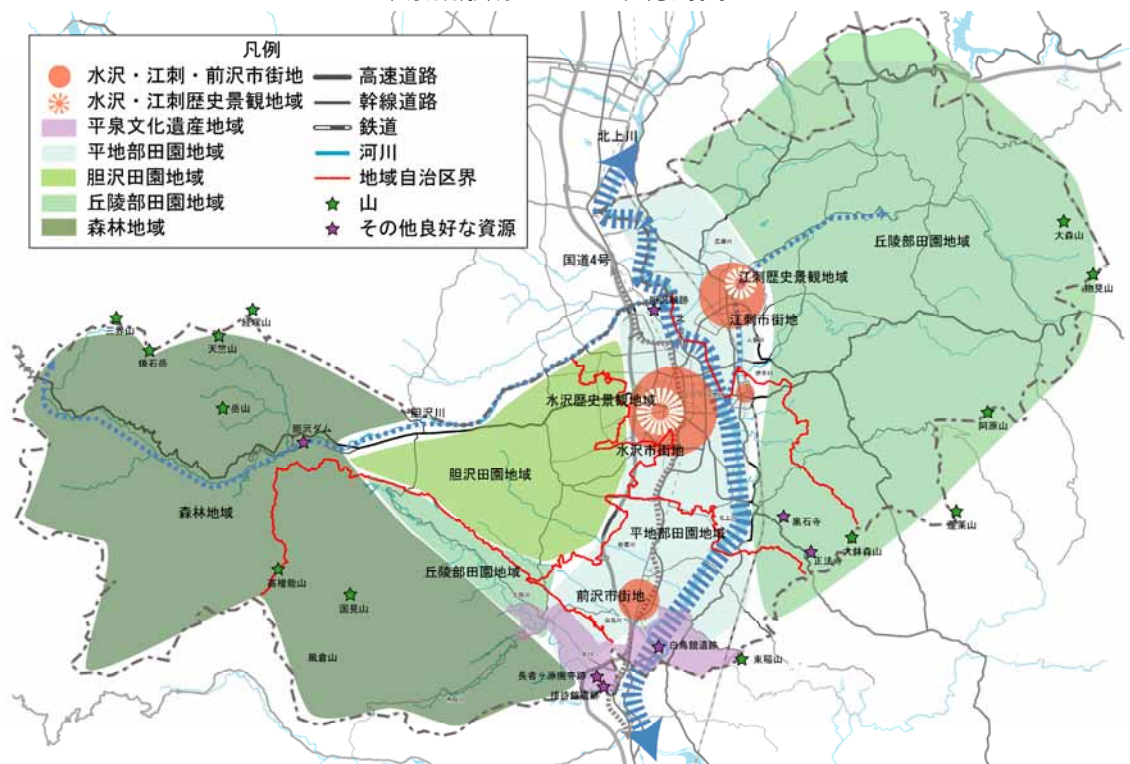
胆沢散居集落の眺望  
(見分森公園展望台からの眺め)

(8) 景観資源や地域特性を活かした一体的な景観づくり

本市の特性を活かした景観形成を進めるためには、個々の景観資源や地域特性を尊重しつつも、それぞれを結びつけ、一体的な調和を図る必要があります。

本市は、地域特性から見ると下図のとおり区分することができます。今後は、この区分に応じた景観形成のためのルールづくりや資源相互の連携を強化するとともに、奥州市らしさが感じられる一体的な景観形成に向けた取り組みを進めます。

## ◆景観形成ゾーニング方針図





## ◆ゾーン区分別の景観特性

| ゾーン区分       | 該当箇所                                 | 景観特性                                                                                                                                                                                      |
|-------------|--------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 水沢・江刺・前沢市街地 | 水沢区、江刺区、前沢区の市街地                      | 水沢区、前沢区の市街地は鉄道駅、江刺区の市街地は江刺総合支所を中心に形成されています。周囲に高層建築物が少ないことから、奥羽山脈や東稲山等の自然景観を望むことができます。しかし、網の目状に張りめぐらされた電線類や国道4号等の幹線道路沿いに乱立する屋外広告物が統一感のある街並みづくりを阻害しています。                                    |
| 水沢・江刺歴史景観地域 | 水沢区の大畑地区や江刺区の蔵まちモール周辺の歴史的景観を形成している地域 | 水沢区の大畑地区には、武家屋敷等の歴史的な建造物や後藤新平旧宅、高野長英旧宅等が今なお残り、その周辺には板塀で囲まれた風情ある閑静な住宅街が形成されています。<br>江刺区の岩谷堂地区は、北上川の舟運で栄えた商人街であり、商品と家財道具を火災から守るため、明治後期から昭和初期にかけて建築された土蔵が今なお数多く残されており、蔵を活かした街並みづくりが進められています。 |
| 平泉文化遺産地域    | 白鳥館遺跡、長者ヶ原廃寺跡、接待館遺跡周辺                | 国指定史跡の白鳥館遺跡や長者ヶ原廃寺跡をはじめ、接待館や安倍館、一首坂等の平泉文化に関係の深い歴史資源が数多く点在しています。<br>また、これらの歴史資源周辺には、良好な農村景観が広がっています。                                                                                       |
| 平地部田園地域     | 北上川周辺の平地部に広がる田園地域                    | 北上川沿いに広がる平地部には、田園が広がっており、四季折々の農村景観が見られます。                                                                                                                                                 |
| 胆沢田園地域      | 胆沢散居集落                               | 胆沢川の扇状地に広がる田園に、散居集落が形成されています。冬期の北風を和らげるために設置されたエグネ、キヅマが、この地域を特徴づけています。                                                                                                                    |
| 丘陵部田園地域     | 丘陵地に広がる田園地域                          | 丘陵地に農地や住居が点在する農村集落が見られます。また、起伏のある地形であるため、棚田が見られる地域もあります。                                                                                                                                  |
| 森林地域        | 西部に広がる森林地域                           | 栗駒国立公園を含む自然豊かな地域であり、四季折々の自然景観を望むことができます。                                                                                                                                                  |

## 6. 7 公園・緑地の整備方針

良好な都市環境の形成、都市の防災性の向上のほか、ユニバーサルデザインへの対応、交流の場づくり等の視点から、適正な配置と維持・管理に努めるとともに、都市の緑化を進めます。

- 身近な公園の整備・充実
- 地域特性（水辺、歴史等）を活かした公園の整備
- 公園・緑地等の改善と適切な維持・管理
- 都市の緑化

### （１） 身近な公園の整備・充実

本市は、水沢公園、水沢ふれあいの丘公園、向山公園等の大規模な公園は充実していますが、街区公園等の身近な公園は配置状況にばらつきがあり、既成市街地では不足している地区も見られます。

このため、配置の状況や住民意向を踏まえ、身近な公園の整備・充実を進めます。特に、既成市街地で防災性の向上に資する公園については、優先的に整備を進めます。

公園の整備は、地域のニーズに応じて使いやすく、管理しやすい公園とするため、計画段階から住民との協働により進めます。また、住民による維持・管理を促進します。

### （２） 地域特性（水辺、歴史等）を活かした公園の整備

本市には、多様な水辺（河川、湧水、滝等）や歴史等の地域資源が各地に点在しています。これらを活かした空間は、地域の交流や子供達の学習の場として、また観光資源として大きな役割を果たすことが期待されます。

地域資源の分布状況や住民意向を踏まえ、親水公園や歴史公園等の地域特性を活かした公園の整備を進めます。

### （３） 公園・緑地等の改善と適切な維持・管理

既存の公園・緑地等については、老朽度、ユニバーサルデザインへの対応、維持・管理のしやすさ等の視点から適切な改善を図ります。

また、維持・管理については、地域が主体的に関わり効果を上げている事例を参考に、行政と地域の適切な役割分担のもと進めます。

### （４） 都市の緑化

本市では、主要道路への街路樹の設置のほか、公共施設の緑化等を進めています。また、

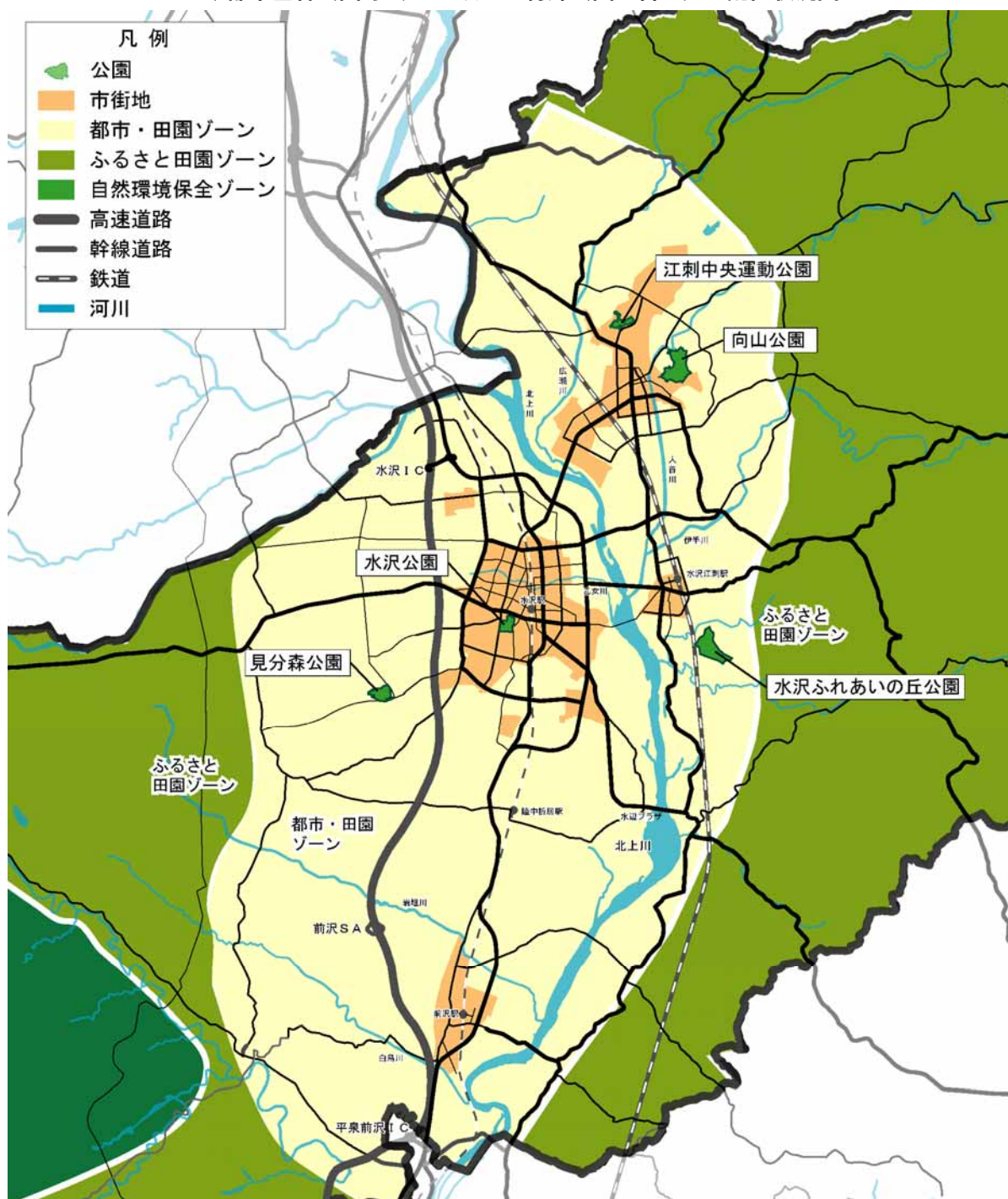
民有地においても、計画的に整備された住宅地等で緑化の誘導を行っています。

今後は、地球温暖化も視野に入れた、潤いのある都市環境を創出するため、公共空間と民有空間が一体となり、生態系に配慮した地域にふさわしい都市の緑化に取り組みます。また、市街地内のまとまりのある樹林地については、保全・活用のあり方を検討します。



### 町内会で設置した花壇

◆都市基幹公園等（10ha 以上の特殊公園も含む）の配置状況図







## 6. 8 住宅・宅地の供給方針

人口が減少するなか、世帯数は、核家族化の影響もあって増加することが予想されます。このような世帯数の増加や世帯構成の変化等も踏まえ、また、定住促進、Uターン、Iターン等の誘導、田園居住、二地域居住等も視野に入れ、多様なライフスタイル、ライフステージに応じた良好な住宅・宅地の供給に努めます。

- 良好な宅地開発の誘導及び地区計画等による良好な住宅市街地の形成
- 人と自然に優しい住宅の建設促進
- 空き家対策
- 住生活基本計画の策定

### (1) 良好な宅地開発の誘導及び地区計画等による良好な住宅市街地の形成

土地区画整理事業及び宅地開発指導要綱等により良好な宅地開発を誘導します。

良好な住宅地の形成を図るため、住民との合意形成のもと地区計画等による規制・誘導を進めます。

また、建築協定の有効期間が満了した地区は、引き続き良好な市街地環境の形成を図るため、地区計画等へ移行します。

### (2) 人と自然に優しい住宅の建設促進

環境に優しい低炭素型のまちづくりを進めるため、断熱性の向上等によるエネルギー使用量の低減に配慮した住宅の新築、増改築を促進するとともに、森林の保全と活用の視点から地場木材の利活用を促進します。また、高齢化に対応したバリアフリー住宅や防災性を向上するための耐震性、耐火性の高い住宅の建設を促進します。

市営住宅については、高齢化や防災、子育て環境等に配慮した整備を進めます。

### (3) 空き家対策

人口減少に伴い各地域で空き家が増加しており、防犯、防災、景観等様々な面で問題となっています。このため、実態を把握し、利用可能な空き家の情報提供を進めるとともに、老朽化の著しい空き家については、撤去の誘導策を検討します。

### (4) 住生活基本計画の策定

住宅施策を計画的かつ効果的に実施していくため、住生活基本計画を策定します。

## 6.9 生活基盤施設の整備方針

上水道、下水道、ごみ処理施設、情報通信基盤は、快適な生活を維持するために不可欠な施設であり、今後も、計画的な維持・充実を図ります。

また、地域活動の中心となる公共公益施設については、利便性の向上に努めます。

- 上水道の維持・充実
- 汚水排水処理施設の整備
- ごみ処理施設の整備
- 情報通信基盤の整備
- 公共公益施設の充実

### (1) 上水道の維持・充実

上水道の安定供給に向け、上水道関連施設の維持・管理及び更新を適切に行うとともに、未給水区域への給水方策を検討します。

### (2) 汚水排水処理施設の整備

河川や用水路等の水質改善及び環境保全を図るため、公共下水道及び農業集落排水処理施設の整備や浄化槽の設置を進めます。

### (3) ごみ処理施設の整備

一般廃棄物処理基本計画（奥州金ヶ崎行政事務組合策定）に基づき、一般廃棄物最終処分場の整備を促進します。

### (4) 情報通信基盤の整備

情報通信基盤は、緊急時の連絡、医療・福祉をはじめ各種サービスを補完する手段として重要な役割を果たしており、今後も携帯電話不感地域の解消やブロードバンド環境の整備を促進します。

### (5) 公共公益施設の充実

公共公益施設は、施設相互の連携等を考慮しながら集約化を検討します。また、新築及び改修等を行う場合は、ユニバーサルデザイン化及び耐震化を図るとともに、省エネルギー施設やクリーンエネルギー施設を導入します。

利用頻度の低い施設については、地域住民と活用のあり方を検討します。



## 6.10 都市防災の向上の方針

安全で安心な暮らしを確保するため、防災拠点の整備・充実や緊急輸送路及び避難路の確保（行き止まり道路や狭隘区間の解消）、自然災害への対策等に総合的に取り組み、災害に強い都市の形成を図ります。

また、災害時における対応が円滑に図られるよう防災・災害情報の提供等の充実を図ります。

- 防災拠点の整備・充実
- 安全な市街地・集落の形成
- 自然災害への対策
- 防災・災害情報の提供等

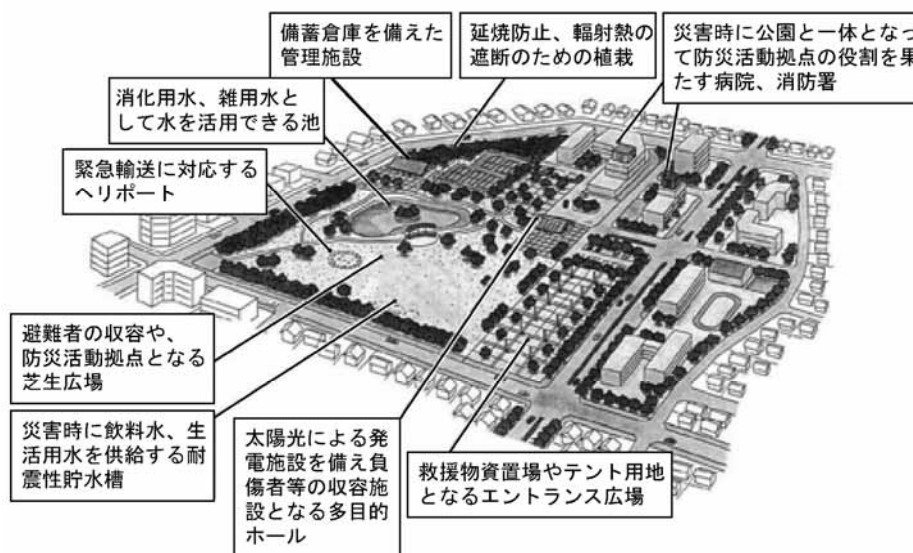
### （１） 防災拠点の整備・充実

災害時の避難場所や救援・復旧の拠点となる公共公益施設については、安全性を確保するため耐震化を図るとともに、避難・救援・復旧に必要な機能の充実を図ります。

公園は、災害時の避難場所や防災活動拠点となることから、配置状況や規模に応じて、延焼遮断帯（緑地）、備蓄庫、貯水槽、非常用電源等の整備・充実を行い、防災機能の強化を図ります。

また、既成市街地等において、オープンスペースが不足しているエリアについては、防災機能を有する公園の整備を進めます。

#### ◆防災公園のイメージ



資料：国土交通省ホームページ

## (2) 安全な市街地・集落の形成

災害時における救急医療や物資輸送のため、緊急輸送路の整備を進めるとともに、橋梁、トンネル、擁壁などの関連構造物の補強を行います。

また、緊急車両の進入や活動、住民の避難を円滑に進めるため、行き止まり道路や狭隘道路の解消を図るとともに、電線類の地中化を促進します。

密集市街地を中心に住宅等の耐震化、不燃化を促進します。また、市街地や集落の消防施設の配置状況を確認し、必要な消防施設の充実を図ります。

## (3) 自然災害への対策

水害対策のため、北上川の堤防整備、その他河川、水路の改修を促進します。

また、土砂崩れ等の災害危険個所の対策を進めます。



無堤地域（北上川藤橋周辺）

## (4) 防災・災害情報の提供等

災害危険箇所等の情報を整理し、防災マップの作成を進めるとともに、防災マップの活用及び防災面に配慮した土地利用の推進等により、防災対策に努めます。

災害時の迅速な情報伝達を行うため、防災無線等の充実や情報連絡体制の強化を図ります。また、迅速な避難・救援・復旧のため、地域に応じた緊急時の体制づくりを促進します。

